

資料編

<資料編 目次>

1 海岸漂着ごみ量・組成調査	資 1-1
1.1 地域別の漂着量の整理	資 1-1
1.1.1 方位別の海岸長の推計方法	資 1-1
1.1.2 本調査における海岸の方位と方位別の適用方法.....	資 1-2
1.1.3 漂着量の算出方法	資 1-3
1.2 海岸漂着物の回収・分類・測定調査	資 1-4
1.2.1 第33回調査（令和4年6月）	資 1-4
1.2.2 第34回調査（令和4年9月）	資 1-10
1.2.3 第35回調査（令和4年11月）	資 1-16
1.2.4 第36回調査（令和5年2月）	資 1-28
1.3 発生国の推定可能な海岸漂着物の分類・計測.....	資 1-34
1.3.1 第33回調査（令和4年6月）	資 1-34
1.3.2 第34回調査（令和4年9月）	資 1-35
1.3.3 第35回調査（令和4年11月）	資 1-36
1.3.4 第35回調査（令和5年2月）	資 1-38
1.4 調査の状況写真	資 1-39
1.4.1 第33回調査（令和4年6月）	資 1-39
1.4.2 第34回調査（令和4年9月）	資 1-44
1.4.3 第35回調査（令和4年11月）	資 1-49
1.4.4 第36回調査（令和5年2月）	資 1-59
2 マイクロプラスチックの調査及び分析	資 2-1
2.1 マイクロプラスチックの回収・分類・測定調査.....	資 2-1
2.1.1 第33回調査（令和4年6月）	資 2-1
2.1.2 第34回調査（令和4年9月）	資 2-1
2.1.3 第35回調査（令和4年11月）	資 2-2
2.1.4 第36回調査（令和5年2月）	資 2-3
2.2 調査の状況写真	資 2-4
2.2.1 第33回調査（令和4年6月）	資 2-4
2.2.2 第34回調査（令和4年9月）	資 2-8
2.2.3 第35回調査（令和4年11月）	資 2-12
2.2.4 第36回調査（令和5年2月）	資 2-20
2.3 分析の状況写真	資 2-24
2.3.1 第33回調査（令和4年6月）	資 2-24
2.3.2 第34回調査（令和4年9月）	資 2-28
2.3.3 第35回調査（令和4年11月）	資 2-32
2.3.4 第36回調査（令和5年2月）	資 2-40

1 海岸漂着ごみ量・組成調査

1.1 地域別の漂着量の整理

1.1.1 方位別の海岸長の推計方法

「平成 30 年度沖縄県全踏調査報告書_資料編」で各海岸の海岸長・向きに関するデータが示されており、地域毎の方位別の海岸延長が推計されている。表 1.1.1 に宮古諸島地域における方位別の海岸長一覧、表 1.1.2 に与那国島における方位別の海岸長一覧を示す。表 1.1.1～2 の海岸長を漂着量の推計に用いた。

表 1.1.1 宮古諸島地域における方位別の海岸長

単位:m

市町村名	島名等	方位別の海岸長								合計
		北	北東	東	南東	南	南西	西	北西	
宮古島市	宮古島	1,870	9,905	3,390	0	3,290	7,070	9,860	2,470	37,855
	池間島	320	490	0	350	185	265	0	0	1,610
	大神島	0	30	0	0	0	254	0	0	284
	来間島	0	205	0	0	0	450	1,210	0	1,865
	伊良部島	0	50	445	550	2,090	0	3,280	0	6,415
	下地島	1,210	0	580	60	720	210	740	0	3,520
	宮古島市合計	3,400	10,680	4,415	960	6,285	8,249	15,090	2,470	51,549
多良間村	多良間島	3,496	344	970	2,045	1,970	570	692	1,100	11,187
	水納島	0	2,090	0	0	0	2,160	0	1,260	5,510
	多良間村合計	3,496	2,434	970	2,045	1,970	2,730	692	2,360	16,697
宮古諸島地域合計		6,896	13,114	5,385	3,005	8,255	10,979	15,782	4,830	68,246

表 1.1.2 与那国島における方位別の海岸長

単位:m

市町村名	島名等	方位別の海岸長								合計
		北	北東	東	南東	南	南西	西	北西	
与那国町	与那国島	1,475	665	0	0	2,295	0	80	0	4,515

1.1.2 本調査における海岸の方位と方位別の適用方法

漂着量の推計の際、本調査で得られた海岸漂着量を同地域・同方位の海岸延長に引き伸ばして各地域の海岸漂着物量を推計した。宮古諸島地域における調査地点の海岸の方位は、カギンミ西が北向き、西原海岸が北東向き、入江海岸が南向き、前浜海岸が西向きであり、与那国島における調査地点の海岸の方位は、祖納港東が北向き、六畳ビーチが北東向き、カタブル浜が南向き、ナーマ浜が西向きであった。しかし、漂着量を推計するにあたり、調査対象海岸の方位と異なる方位の海岸も含まれる。可能な限り正確な推計値を算出するために、北東であれば北向きと東向きの調査対象海岸の海岸漂着量の間値を使用するなど、より条件に近い方位の調査対象海岸の漂着量を使用した。方位別の漂着量推計に適用する調査対象海岸について表 1.1.3 に示す。

なお、宮古諸島地域では東向きの海岸の漂着量の推計には、調査の継続性の観点から過年度の推計方法に従って北東向きの西原海岸の結果を使用し、与那国島ではナーマ浜の海岸方位は西向きであるが、湾内に位置し、湾口は北向きであるため北向きの海岸の結果として使用した。また、与那国島は東向き、南東向き、南西向き、北西向きの海岸が無いいため、算出が不要である。

表 1.1.3 方位別の漂着量推計に適用する調査対象海岸

方位	漂着量推計に適用する調査対象海岸	
	宮古諸島地域	与那国島
北	カギンミ西の漂着量	(祖納港東の漂着量＋ナーマ浜の漂着量) / 2
北東	西原海岸の漂着量	六畳ビーチの漂着量
東	西原海岸の漂着量	算出不要
南東	(西原海岸の漂着量＋入江海岸の漂着量) / 2	算出不要
南	入江海岸の漂着量	カタブル浜の漂着量
南西	(入江海岸の漂着量＋前浜海岸の漂着量) / 2	算出不要
西	前浜海岸の漂着量	(祖納港東の漂着量＋ナーマ浜の漂着量) / 4 ＋ (カタブル浜の漂着量) / 2
北西	(前浜海岸の漂着量＋カギンミ西の漂着量) / 2	算出不要

1.1.3 漂着量の算出方法

(1)の海岸長と(2)の方位別の推計に適用する海岸の漂着量を用いて、報告書本編表2.4.1の漂着物分類項目ごとに漂着量を算出した。本調査にて得られた結果は50mあたりの結果であるため、本調査で得られた結果に海岸長を50で割った数値を掛けることで、島ごとの方位別の漂着量を算出した。全ての漂着物分類項目について島及び方位別に算出し、足し合わせることで地域別の漂着量を推計することが可能である。宮古島の北西向きの海岸における365日あたりのペットボトルの漂着重量を例として計算手順を以下に示す。

①海岸長

宮古島の北西向きの海岸長は2,470mである。

②適用する調査対象海岸

前浜海岸とカギンミ西の漂着重量を用いる。ペットボトルの漂着重量は前浜海岸では0kg、カギンミ西では59.2kg（表示上小数点1桁まで）のため、北西向きの海岸の50mあたりのペットボトルの重量は29.6kgである。

③漂着重量の算出

②で算出した29.6kgに北西向きの海岸長を50で割った49.4を掛ける。この計算で出た数値が宮古島の北西向きの海岸における365日あたりのペットボトルの漂着重量の推計値である。

$$29.6\text{kg} \times 49.4 = 1462.24\text{ kg}$$

上記の①～③の計算を全ての方位及び島について行い、足し合わせることで地域別の漂着量の推計を行った。

1.2 海岸漂着物の回収・分類・測定調査

1.2.1 第33回調査（令和4年6月）

第33回調査における海岸別の海岸漂着物の回収・分類・測定調査の結果を表1.2.1～2及び図1.2.1～8に示す。

表 1.2.1 海岸漂着物の漂着重量調査結果（宮古諸島地域）
（第33回調査 令和4年6月）

単位：kg/50m

素 材	種 類	宮古島・池間島			
		北	北東	南	西
		カギンミ西	西原海岸	入江海岸	前浜海岸
1. プラスチック類	ペットボトル	16.2	11.0	0.2	
	漁業用ブイ	54.6	12.6	0.4	0.0
	漁具・漁網	25.7	6.5	5.7	0.1
	他プラスチック	14.0	22.0	0.8	0.7
	プラスチック類合計	110.4	52.1	7.1	0.8
2. 発泡スチロール類		35.4	3.5	0.2	0.0
3. ゴム類		4.3	2.9	0.0	0.0
4. 紙類					
5. 布類					
6. ガラス、陶磁器類		1.6	6.6	0.2	0.1
7. 金属類		2.2	0.3		
8. 木類		539.7	2.8	101.8	1,183.3
9. 医療系廃棄物			0.0		
10. オイルボール・廃油・廃液					
11. その他（粗大ごみ等）					
品目別その他（木材を除く3～11の合計）		8.2	9.8	0.2	0.1
木類を除く合計		154.0	65.4	7.4	1.0
合計		693.7	68.2	109.2	1,184.3

注1) 数値は小数点第二位で四捨五入して表記した。

注2) 空欄は回収がないことを、「0.0」は0.05kg未満を示す。

表 1.2.2 海岸漂着物の漂着容量調査結果（宮古諸島地域）
（第 33 回調査 令和 4 年 6 月）

単位：L/50m

素 材	種 類	宮古島・池間島			
		北	北東	南	西
		カギンミ西	西原海岸	入江海岸	前浜海岸
1. プラスチック類	ペットボトル	324.0	230.0	8.0	
	漁業用ブイ	336.0	68.0	2.0	0.1
	漁具・漁網	79.5	55.0	19.0	1.0
	他プラスチック	155.8	300.0	10.1	4.1
プラスチック類合計		895.4	653.0	39.1	5.1
2. 発泡スチロール類		958.1	110.0	10.0	1.0
3. ゴム類		33.0	20.0	0.0	0.1
4. 紙類					
5. 布類					
6. ガラス、陶磁器類		1.7	18.2	0.3	0.1
7. 金属類		14.1	3.0		
8. 木類		1,502.4	30.0	275.2	3,202.0
9. 医療系廃棄物			0.1		
10. オイルボール・廃油・廃液					
11. その他（粗大ごみ等）					
品目別その他（木材を除く3～11の合計）		48.8	41.3	0.3	0.2
木類を除く合計		1,902.3	804.3	49.4	6.3
合計		3,404.6	834.3	324.6	3,208.3

注1) 数値は小数点第二位で四捨五入して表記した。

注2) 空欄は回収がないことを、「0.0」は0.05L未満を示す。

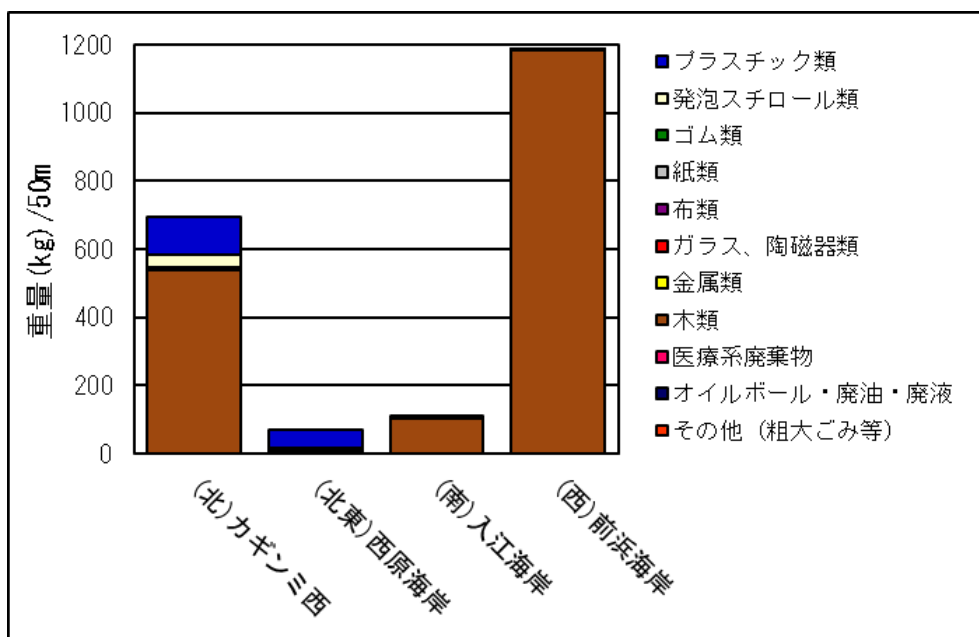


図 1.2.1 海岸漂着物の漂着重量調査結果（宮古諸島地域）
（第 33 回調査 令和 4 年 6 月）【素材別】

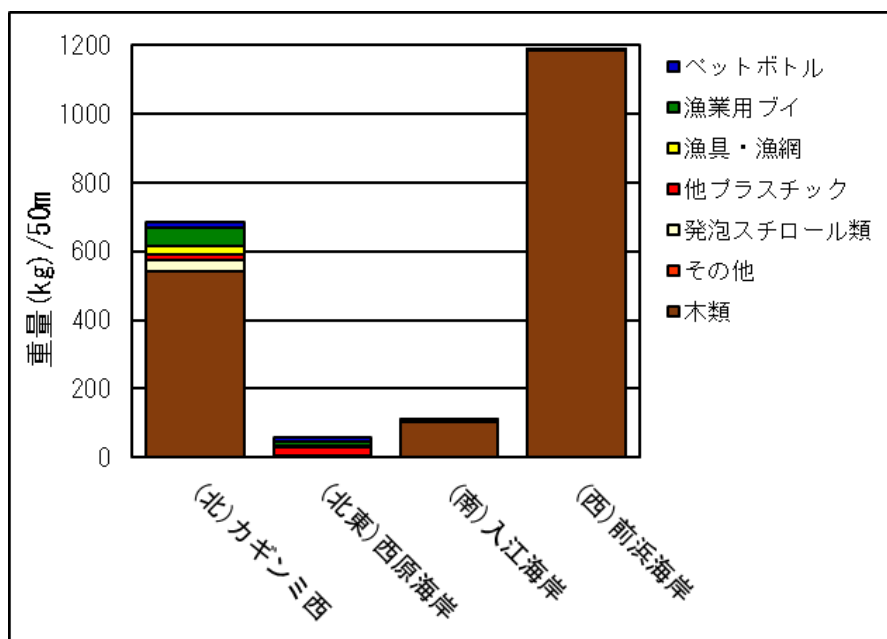


図 1.2.2 海岸漂着物の漂着重量調査結果（宮古諸島地域）
（第 33 回調査 令和 4 年 6 月）【プラスチック類に注目した種類別】

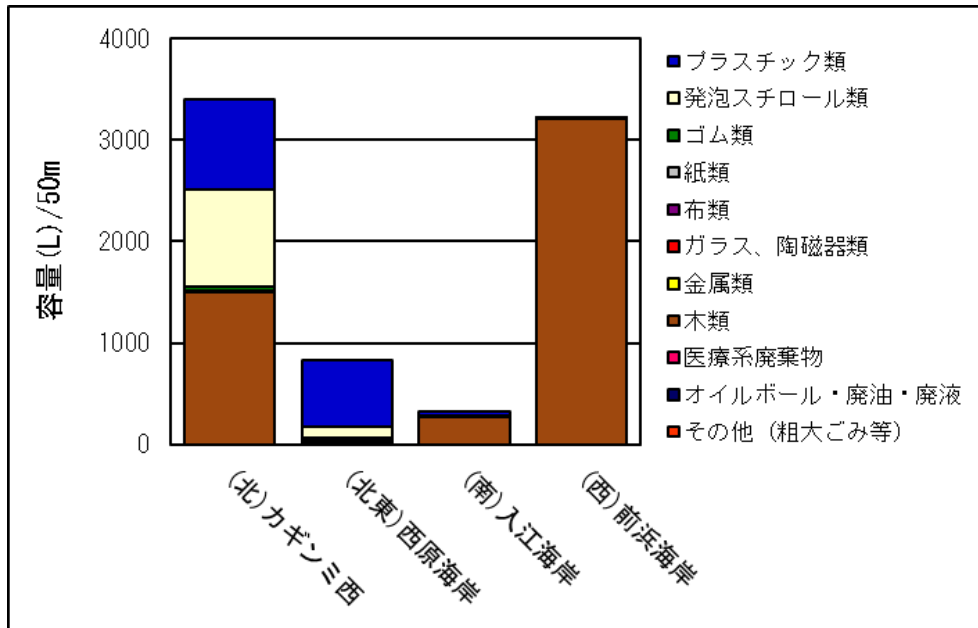


図 1.2.3 海岸漂着物の漂着容量調査結果（宮古諸島地域）
（第 33 回調査 令和 4 年 6 月）【素材別】

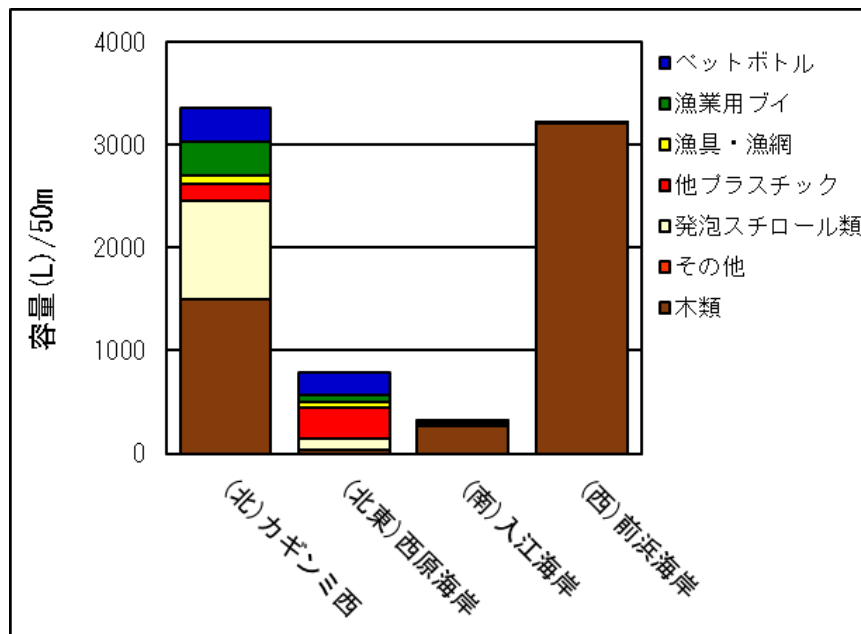


図 1.2.4 海岸漂着物の漂着容量調査結果（宮古諸島地域）
（第 33 回調査 令和 4 年 6 月）【プラスチック類に注目した種類別】

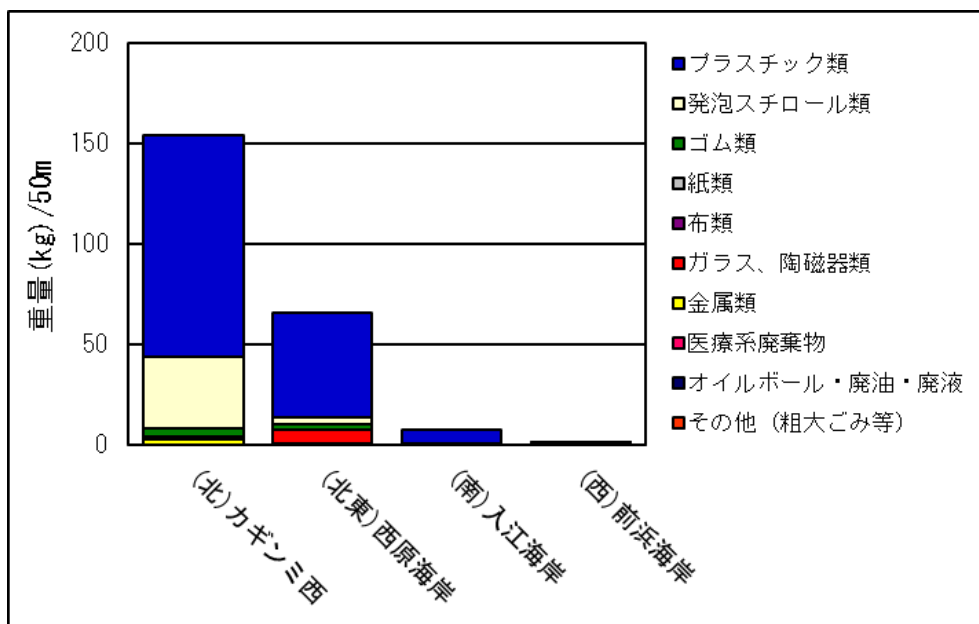


図 1.2.5 海岸漂着物の漂着重量調査結果 (宮古諸島地域)
(第 33 回調査 令和 4 年 6 月)【素材別・木類を除く】

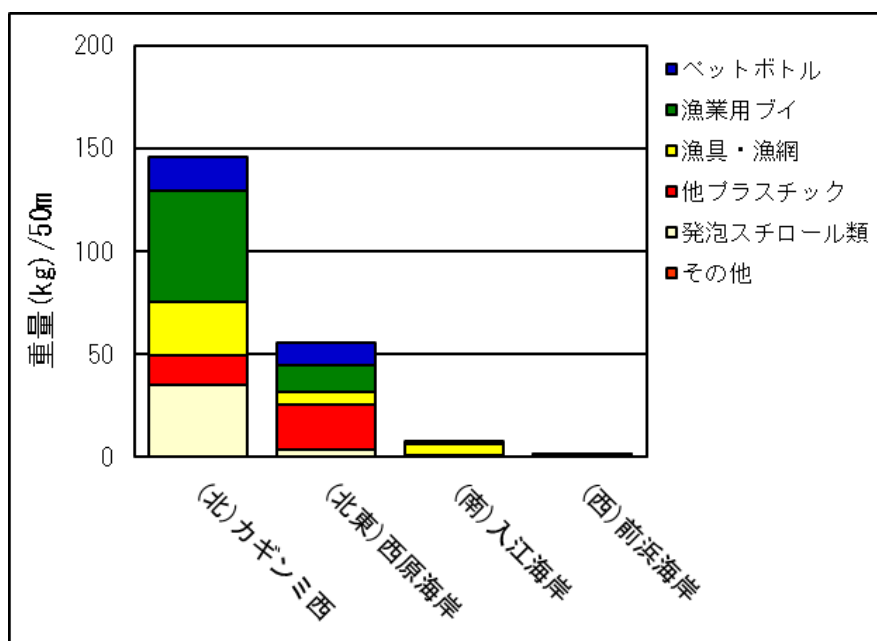


図 1.2.6 海岸漂着物の漂着重量調査結果 (宮古諸島地域)
(第 33 回調査 令和 4 年 6 月)【プラスチック類に注目した種類別・木類を除く】

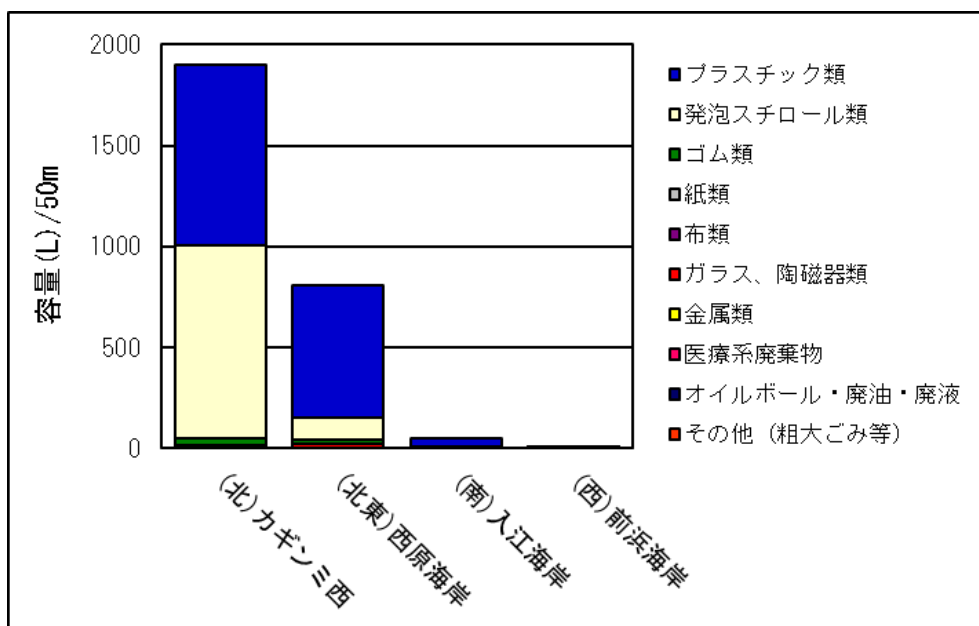


図 1.2.7 海岸漂着物の漂着容量調査結果（宮古諸島地域）
（第 33 回調査 令和 4 年 6 月）【素材別・木類を除く】

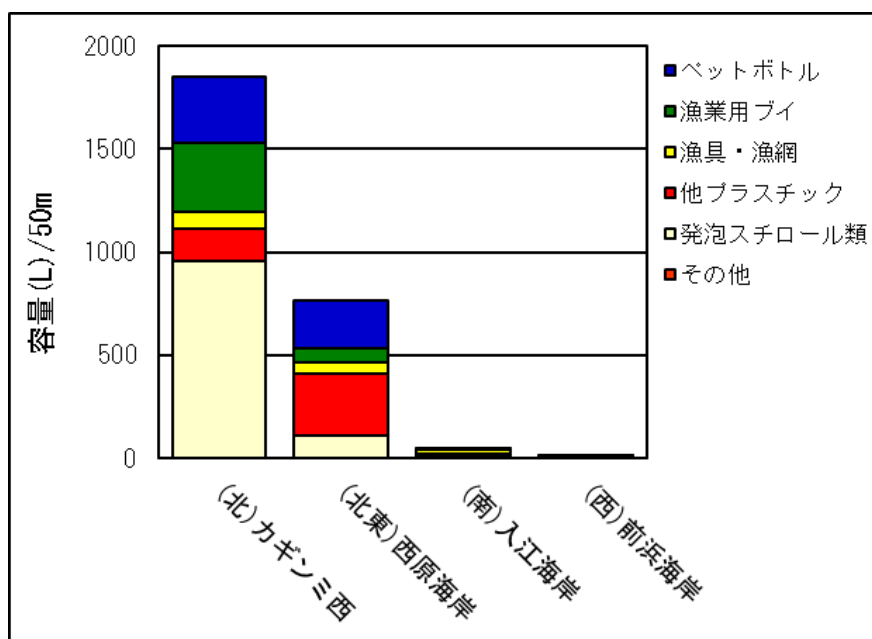


図 1.2.8 海岸漂着物の漂着容量調査結果（宮古諸島地域）
（第 33 回調査 令和 4 年 6 月）【プラスチック類に注目した種類別・木類を除く】

1.2.2 第34回調査（令和4年9月）

第34回調査における海岸別の海岸漂着物の回収・分類・測定調査の結果を表1.2.3～4及び図1.2.9～16に示す。

表 1.2.3 海岸漂着物の漂着重量調査結果（宮古諸島地域）
（第33回調査 令和3年9月）

単位：kg/50m

素 材	種 類	宮古島・池間島			
		北	北東	南	西
		カギンミ西	西原海岸	入江海岸	前浜海岸
1. プラスチック類	ペットボトル	9.3	2.8	0.3	
	漁業用ブイ	20.8	3.7	2.1	
	漁具・漁網	12.3	2.7	1.0	0.0
	他プラスチック	15.0	10.7	1.8	0.4
	プラスチック類合計	57.3	19.9	5.2	0.4
2. 発泡スチロール類		2.7	1.0		
3. ゴム類		12.0	2.5	0.4	
4. 紙類					
5. 布類					
6. ガラス、陶磁器類		0.2	3.9	0.1	0.0
7. 金属類		0.3	0.2	0.0	0.0
8. 木類		94.1	61.6	69.0	0.1
9. 医療系廃棄物		0.0			
10. オイルボール・廃油・廃液					
11. その他（粗大ごみ等）					
品目別その他（木材を除く3～11の合計）		12.5	6.6	0.5	0.0
木類を除く合計		72.6	27.5	5.8	0.4
合 計		166.7	89.1	74.8	0.5

注1) 数値は小数点第二位で四捨五入して表記した。

注2) 空欄は回収がないことを、「0.0」は0.05kg未満を示す。

表 1.2.4 海岸漂着物の漂着容量調査結果（宮古諸島地域）
（第 34 回調査 令和 4 年 9 月）

単位：L/50m

素 材	種 類	宮古島・池間島			
		北	北東	南	西
		カギンミ西	西原海岸	入江海岸	前浜海岸
1. プラスチック類	ペットボトル	300.0	80.0	6.0	
	漁業用ブイ	170.0	24.0	15.2	
	漁具・漁網	31.5	30.0	12.0	0.1
	他プラスチック	157.9	102.7	20.1	0.1
プラスチック類合計		659.4	236.7	53.3	0.2
2. 発泡スチロール類		106.0	65.0		
3. ゴム類		40.2	24.0	1.0	
4. 紙類					
5. 布類					
6. ガラス、陶磁器類		0.5	21.1	0.1	0.1
7. 金属類		0.5	0.6	0.3	0.1
8. 木類		254.4	166.4	186.6	0.3
9. 医療系廃棄物		0.0			
10. オイルボール・廃油・廃液					
11. その他（粗大ごみ等）					
品目別その他（木材を除く3～11の合計）		41.3	45.7	1.4	0.2
木類を除く合計		806.7	347.4	54.7	0.3
合 計		1,061.0	513.8	241.3	0.6

注1) 数値は小数点第二位で四捨五入して表記した。

注2) 空欄は回収がないことを、「0.0」は0.05L未満を示す。

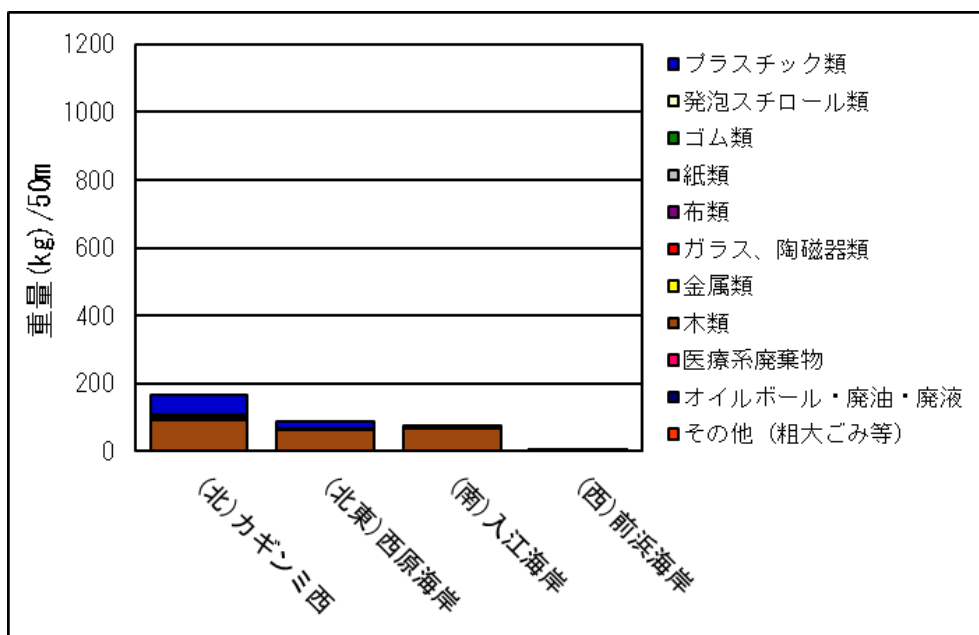


図 1.2.9 海岸漂着物の漂着重量調査結果（宮古諸島地域）
（第 34 回調査 令和 4 年 9 月）【素材別】

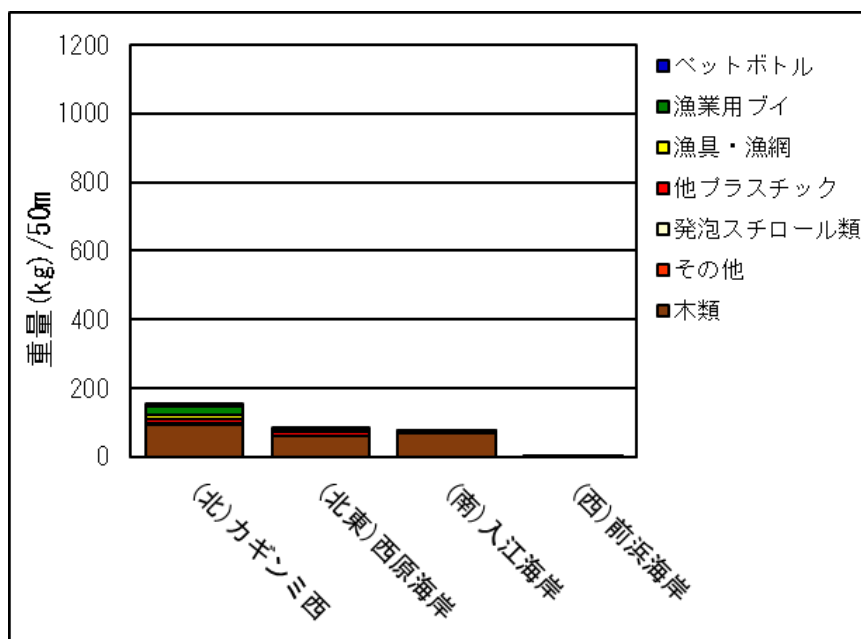


図 1.2.10 海岸漂着物の漂着重量調査結果（宮古諸島地域）
（第 34 回調査 令和 4 年 9 月）【プラスチック類に注目した種類別】

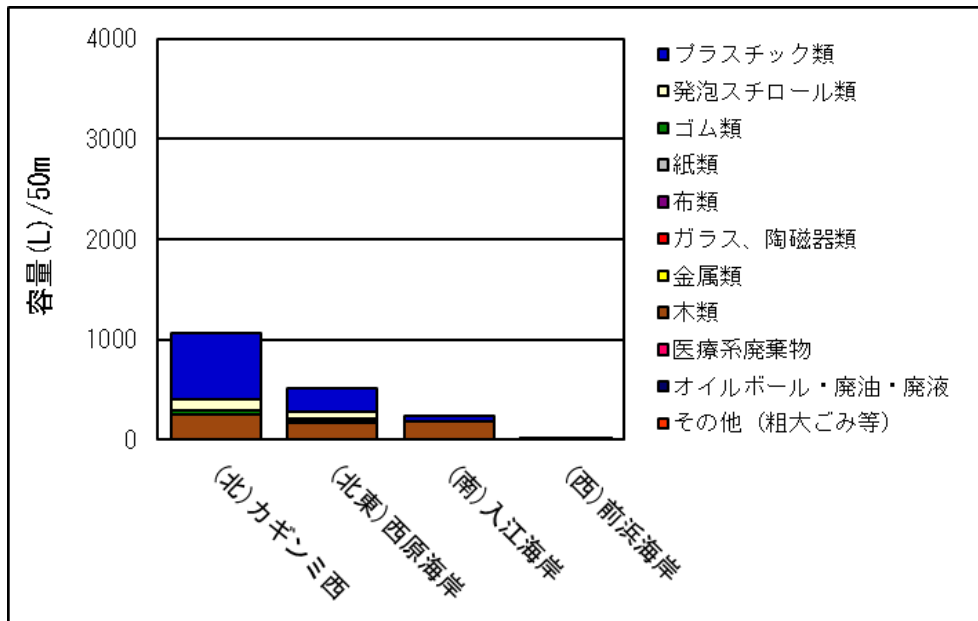


図 1.2.11 海岸漂着物の漂着容量調査結果（宮古諸島地域）
（第 34 回調査 令和 4 年 9 月）【素材別】

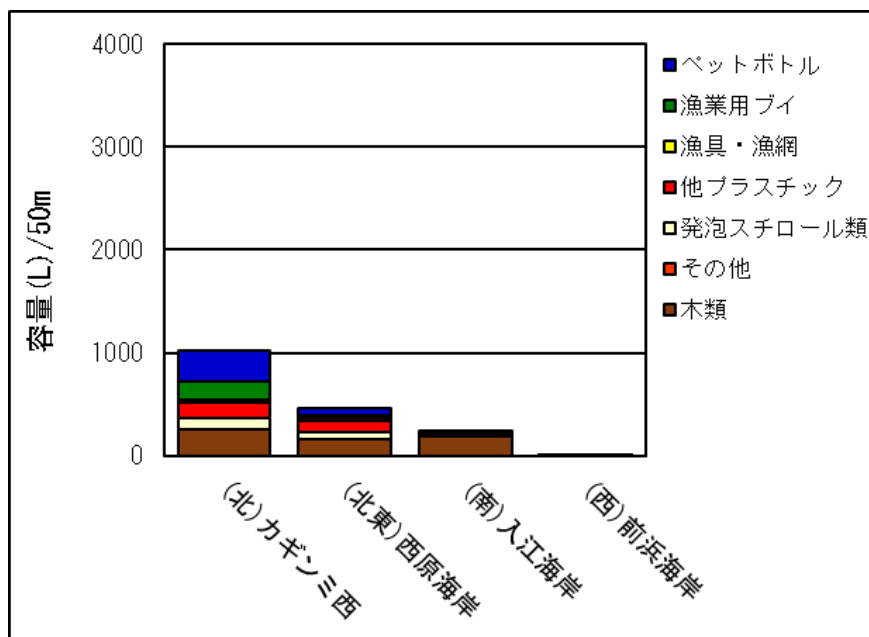


図 1.2.12 海岸漂着物の漂着容量調査結果（宮古諸島地域）
（第 34 回調査 令和 4 年 9 月）【プラスチック類に注目した種類別】

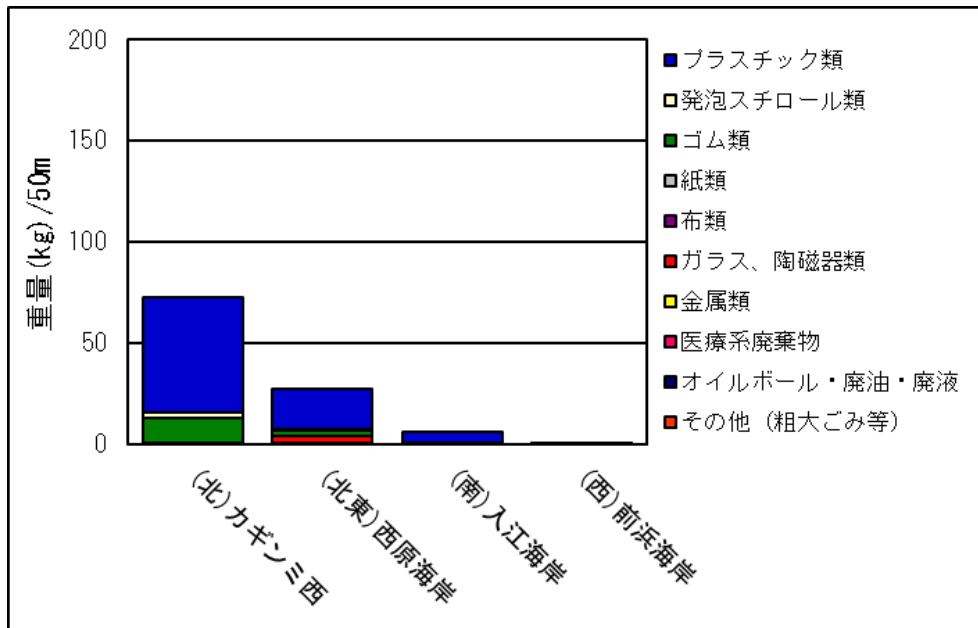


図 1.2.13 海岸漂着物の漂着重量調査結果（宮古諸島地域）
（第 34 回調査 令和 4 年 9 月）【素材別・木類を除く】

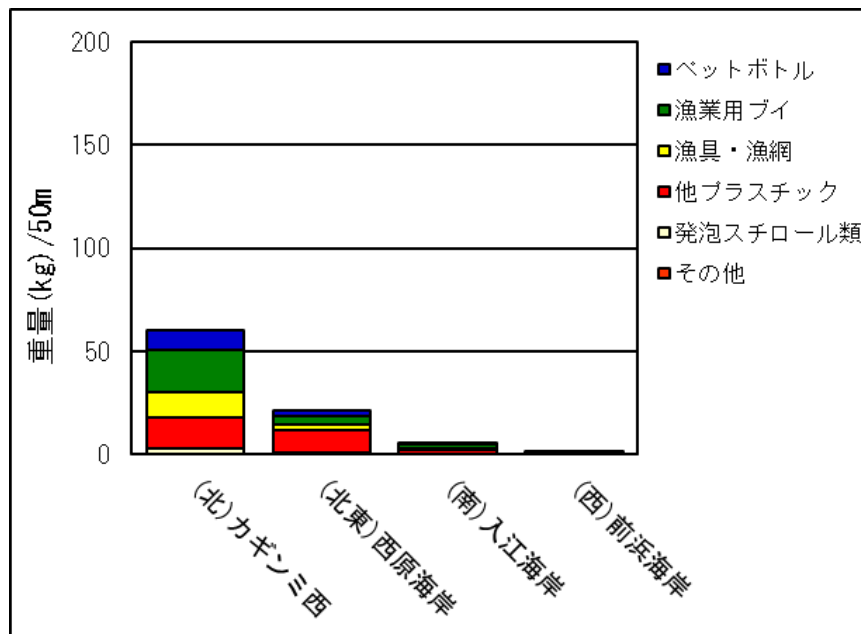


図 1.2.14 海岸漂着物の漂着重量調査結果（宮古諸島地域）
（第 34 回調査 令和 4 年 9 月）【プラスチック類に注目した種類別・木類を除く】

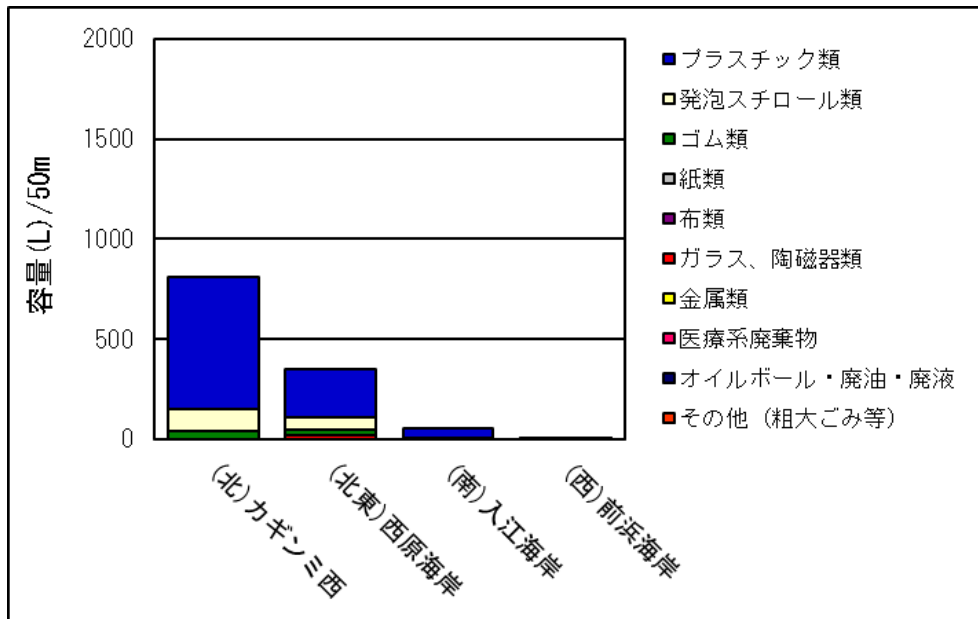


図 1.2.15 海岸漂着物の漂着容量調査結果（宮古諸島地域）
（第 34 回調査 令和 4 年 9 月）【素材別・木類を除く】

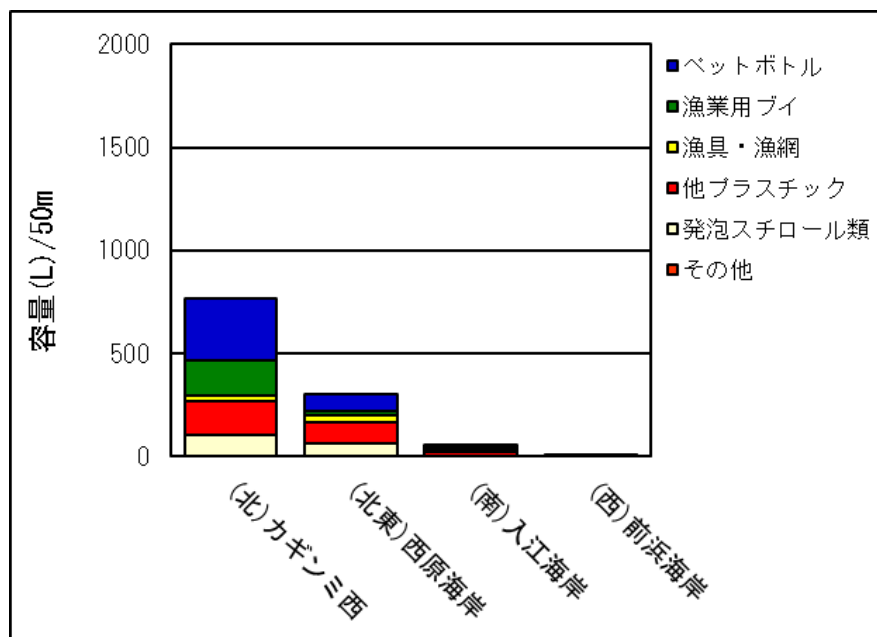


図 1.2.16 海岸漂着物の漂着容量調査結果（宮古諸島地域）
（第 34 回調査 令和 4 年 9 月）【プラスチック類に注目した種類別・木類を除く】

1.2.3 第35回調査（令和4年11月）

1) 宮古諸島地域における漂着量

第35回調査における海岸別の海岸漂着物の回収・分類・測定調査の結果を表1.2.5～6及び図1.2.17～24に示す。

表1.2.5 海岸漂着物の漂着重量調査結果（宮古諸島地域）
（第35回 令和4年11月）

単位：kg/50m

素 材	種 類	宮古島・池間島			
		北	北東	南	西
		カギンミ西	西原海岸	入江海岸	前浜海岸
1. プラスチック類	ペットボトル	3.0	1.2	0.0	
	漁業用ブイ	13.9	0.8	0.5	
	漁具・漁網	2.1	1.0	0.3	0.1
	他プラスチック	4.7	9.8	0.4	0.5
	プラスチック類合計	23.7	12.8	1.3	0.6
2. 発泡スチロール類		3.0	0.2		
3. ゴム類		2.5	1.2	0.1	
4. 紙類					
5. 布類					
6. ガラス、陶磁器類		1.9	2.9	0.2	0.2
7. 金属類		0.1	0.1	1.2	0.4
8. 木類		388.1	2.5	2.5	0.1
9. 医療系廃棄物					
10. オイルボール・廃油・廃液					
11. その他（粗大ごみ等）					
品目別その他（木材を除く3～11の合計）		4.5	4.2	1.4	0.7
木類を除く合計		31.3	17.3	2.7	1.2
合計		419.4	19.8	5.2	1.4

注1) 数値は小数点第二位で四捨五入して表記した。

注2) 空欄は回収がないことを、「0.0」は0.05kg未満を示す。

表 1.2.6 海岸漂着物の漂着容量調査結果（宮古諸島地域）
（第 35 回 令和 4 年 11 月）

単位：L/50m

素 材	種 類	宮古島・池間島			
		北	北東	南	西
		カギンミ西	西原海岸	入江海岸	前浜海岸
1. プラスチック類	ペットボトル	70.0	35.0	0.1	
	漁業用ブイ	50.0	2.0	0.2	
	漁具・漁網	41.4	15.0	1.2	0.2
	他プラスチック	66.5	92.7	1.5	0.1
プラスチック類合計		227.9	144.7	3.0	0.3
2. 発泡スチロール類		120.3	5.0		
3. ゴム類		17.5	3.0	0.1	
4. 紙類					
5. 布類					
6. ガラス、陶磁器類		4.9	6.2	0.1	0.1
7. 金属類		0.5	0.5	0.6	0.4
8. 木類		1,437.1	6.0	40.0	1.0
9. 医療系廃棄物					
10. オイルボール・廃油・廃液					
11. その他（粗大ごみ等）					
品目別その他（木材を除く3～11の合計）		22.9	9.7	0.8	0.5
木類を除く合計		371.1	159.4	3.8	0.8
合計		1,808.2	165.4	43.8	1.8

注1) 数値は小数点第二位で四捨五入して表記した。

注2) 空欄は回収がないことを、「0.0」は0.05L未満を示す。

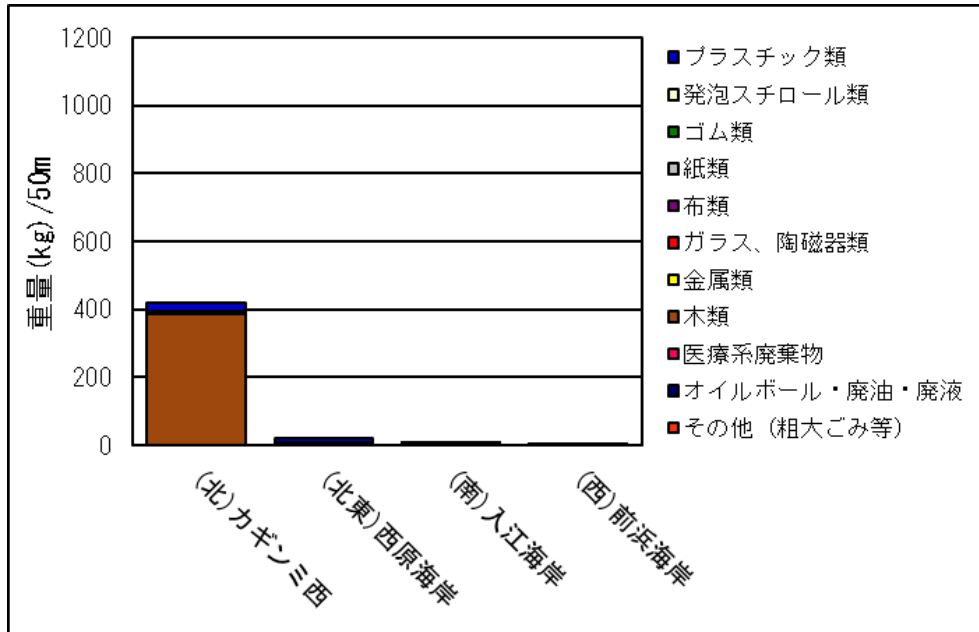


図 1.2.17 海岸漂着物の漂着重量調査結果（宮古諸島地域）
（第 35 回調査 令和 4 年 11 月）【素材別】

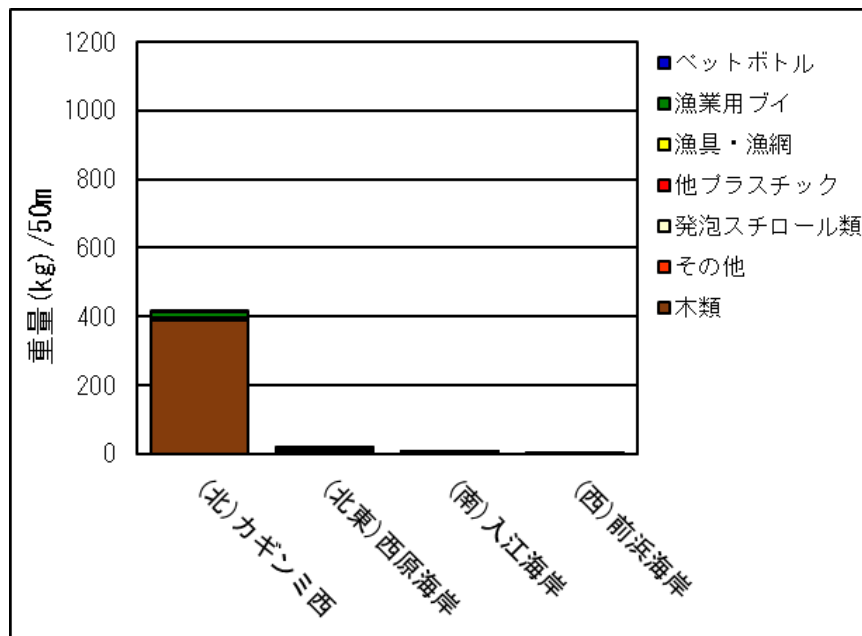


図 1.2.18 海岸漂着物の漂着重量調査結果（宮古諸島地域）
（第 35 回調査 令和 4 年 11 月）【プラスチック類に注目した種類別】

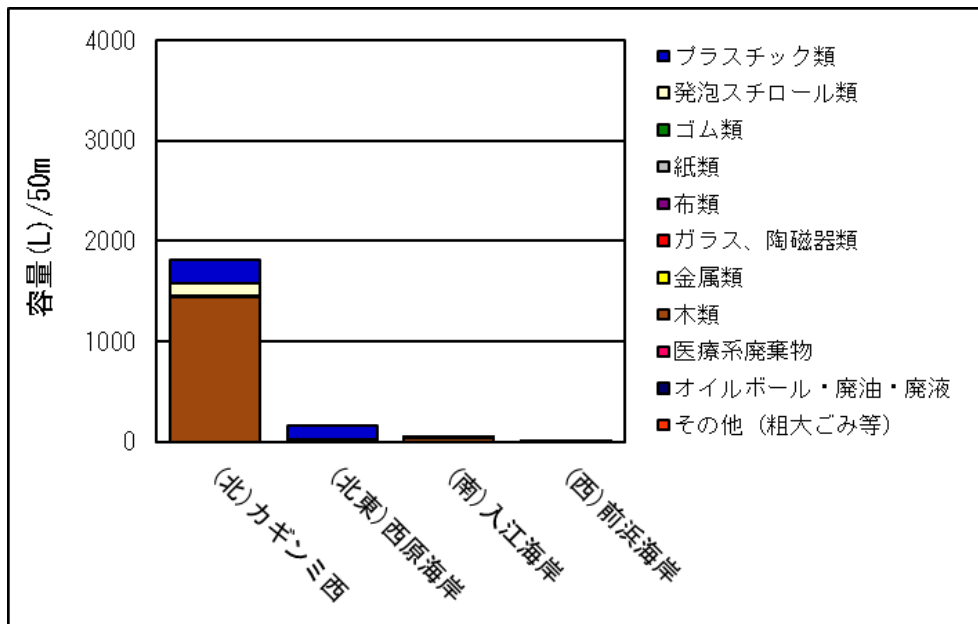


図 1.2.19 海岸漂着物の漂着容量調査結果（宮古諸島地域）
（第 35 回調査 令和 4 年 11 月）【素材別】

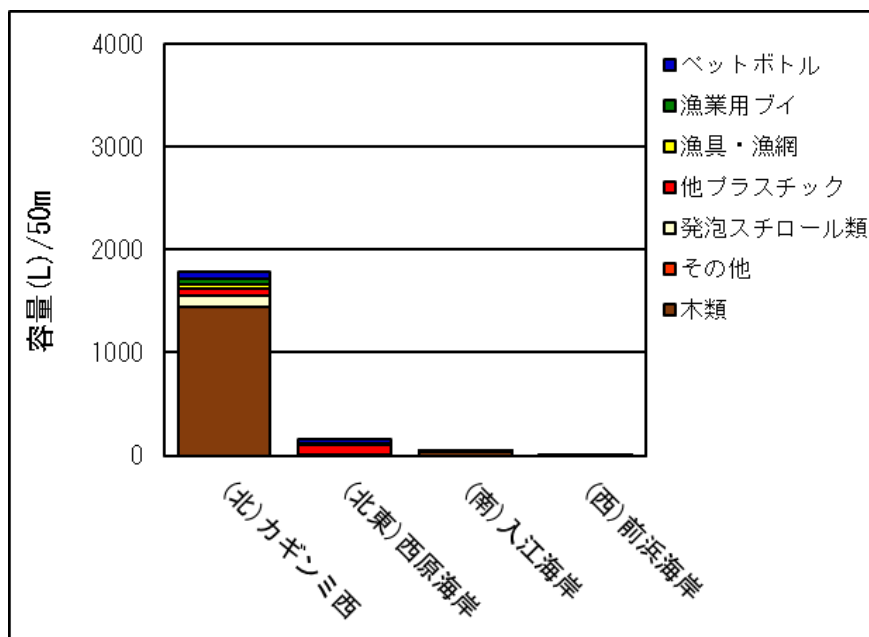


図 1.2.20 海岸漂着物の漂着容量調査結果（宮古諸島地域）
（第 35 回調査 令和 4 年 11 月）【プラスチック類に注目した種類別】

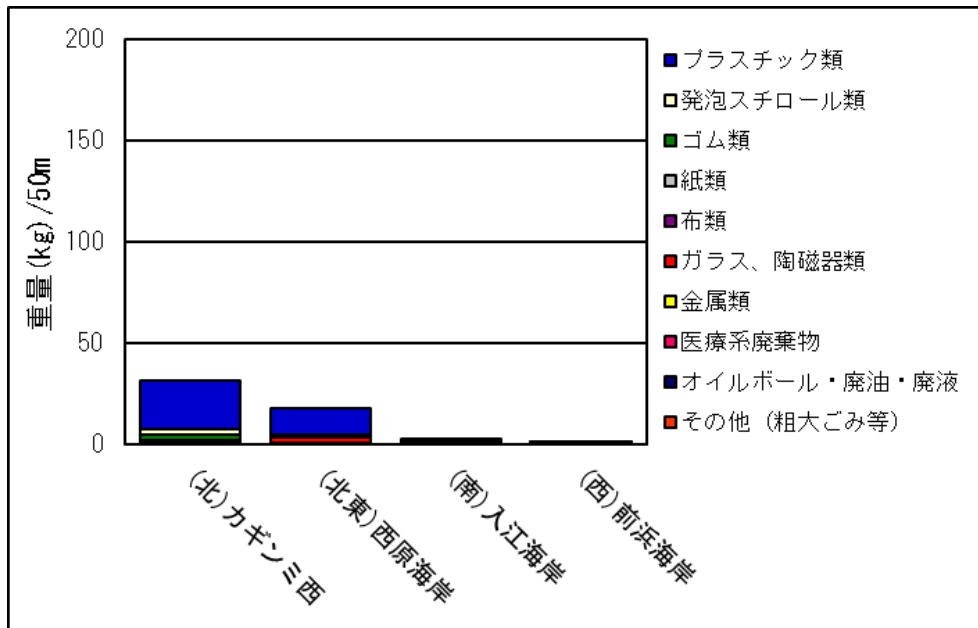


図 1.2.21 海岸漂着物の漂着重量調査結果（宮古諸島地域）
（第 35 回調査 令和 4 年 11 月）【素材別・木類を除く】

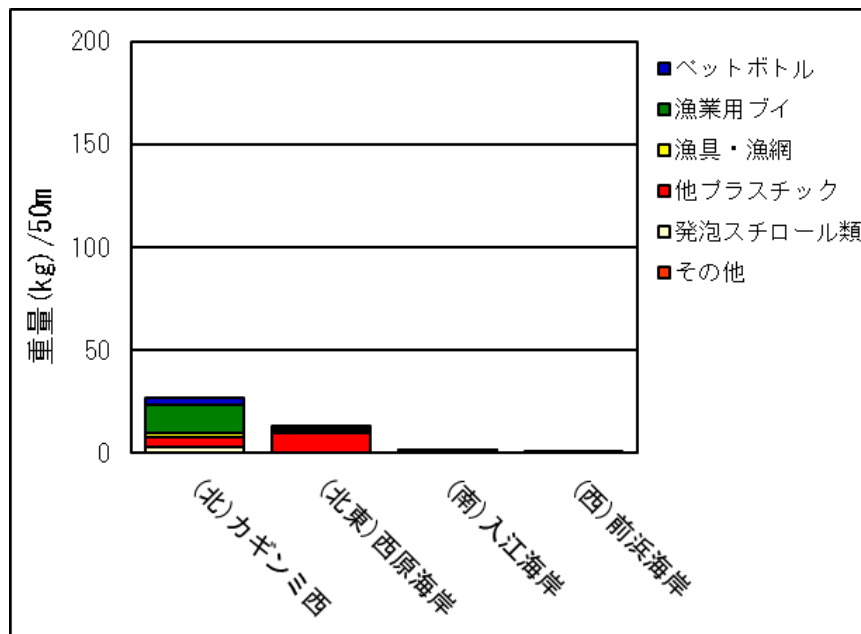


図 1.2.22 海岸漂着物の漂着重量調査結果（宮古諸島地域）
（第 35 回調査 令和 4 年 11 月）【プラスチック類に注目した種類別・木類を除く】

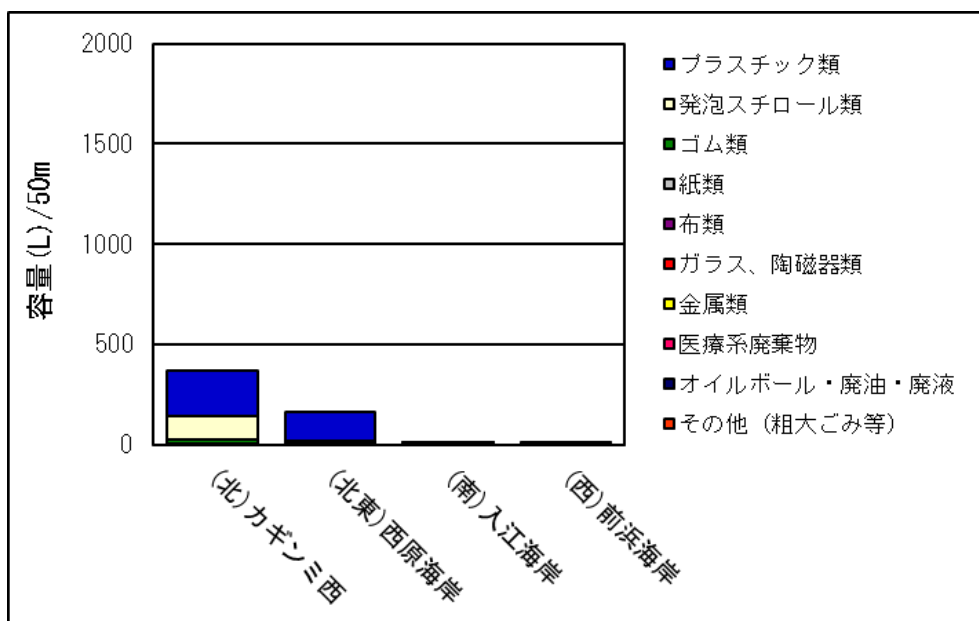


図 1.2.23 海岸漂着物の漂着容量調査結果（宮古諸島地域）
（第 35 回調査 令和 4 年 11 月）【素材別・木類を除く】

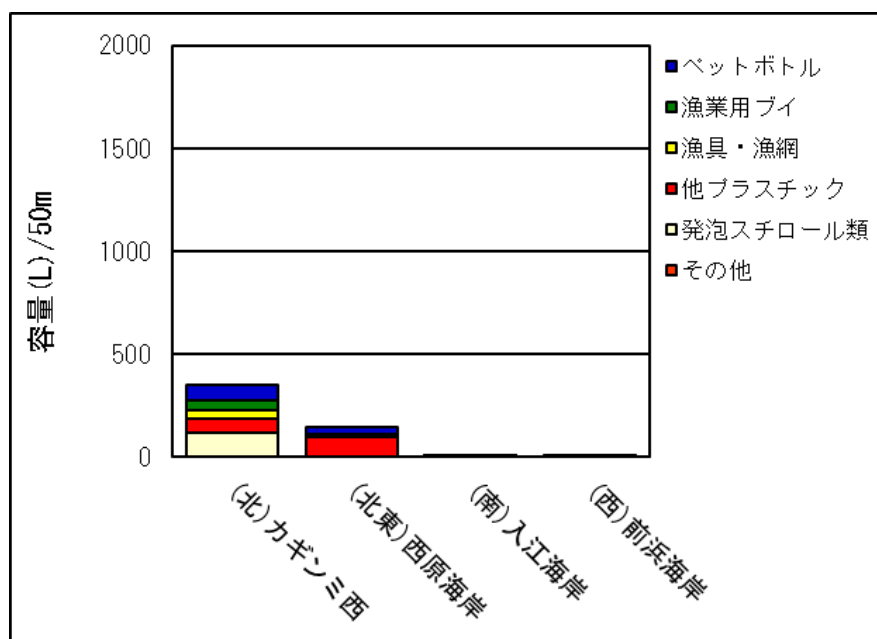


図 1.2.24 海岸漂着物の漂着容量調査結果（宮古諸島地域）
（第 35 回調査 令和 4 年 11 月）【プラスチック類に注目した種類別・木類を除く】

2) 八重山諸島地域（与那国島）における漂着量

第 35 回調査における海岸別の海岸漂着物の回収・分類・測定調査の結果を表 1. 2. 7～8 及び図 1. 2. 25～32 に示す。

表 1. 2. 7 海岸漂着物の漂着重量調査結果（八重山諸島地域 与那国島）
（第 35 回 令和 4 年 11 月）

単位：kg/50m

素 材	種 類	与那国島			
		北	北東	南	北
		祖納港東	六畳ビーチ	カタブル浜	ナーマ浜
1. プラスチック類	ペットボトル	1. 7	4. 3	0. 3	11. 9
	漁業用ブイ	10. 2	1. 4	2. 0	0. 7
	漁具・漁網	0. 4	0. 0	4. 0	56. 1
	他プラスチック	1. 2	1. 5	6. 5	72. 4
	プラスチック類合計	13. 5	7. 2	12. 8	141. 0
2. 発泡スチロール類		1. 2	4. 5	1. 0	1. 2
3. ゴム類		0. 7	0. 3	13. 4	10. 7
4. 紙類		0. 2			
5. 布類				0. 0	0. 1
6. ガラス、陶磁器類		0. 2		1. 0	4. 9
7. 金属類		0. 3	0. 0	0. 0	0. 0
8. 木類		1, 156. 3		1, 184. 0	1, 330. 7
9. 医療系廃棄物					0. 1
10. オイルボール・廃油・廃液					
11. その他（粗大ごみ等）					
品目別その他（木材を除く3～11の合計）		1. 3	0. 3	14. 4	15. 7
木類を除く合計		16. 1	11. 9	28. 2	157. 9
合計		1, 172. 4	11. 9	1, 212. 2	1, 488. 7

注1) 数値は小数点第二位で四捨五入して表記した。

注2) 空欄は回収がないことを、「0. 0」は0. 05kg未満を示す。

表 1.2.8 海岸漂着物の漂着容量調査結果（八重山諸島地域 与那国島）
（第 35 回 令和 4 年 11 月）

単位：L/50m

素 材	種 類	与那国島			
		北	北東	南	北
		祖納港東	六畳 ビーチ	カタブル 浜	ナーマ浜
1. プラスチック類	ペットボトル	35.0	160.0	8.0	430.0
	漁業用ブイ	43.0	20.5	9.0	3.0
	漁具・漁網	2.0	1.0	30.0	135.0
	他プラスチック	515.1	20.0	40.3	715.0
	プラスチック類合計	595.1	201.5	87.3	1,283.0
2. 発泡スチロール類		18.0	120.0	20.1	64.0
3. ゴム類		10.0	2.0	58.2	103.0
4. 紙類		0.2			
5. 布類				0.2	1.1
6. ガラス、陶磁器類		1.0		2.0	11.6
7. 金属類		280.0	0.4	0.3	0.2
8. 木類		3,125.3		3,200.0	5,699.7
9. 医療系廃棄物					0.1
10. オイルボール・廃油・廃液					
11. その他（粗大ごみ等）					
品目別その他（木材を除く3～11の合計）		291.2	2.4	60.7	115.9
木類を除く合計		904.3	323.9	168.1	1,463.0
合計		4,029.6	323.9	3,368.1	7,162.7

注1) 数値は小数点第二位で四捨五入して表記した。

注2) 空欄は回収がないことを、「0.0」は0.05L未満を示す。

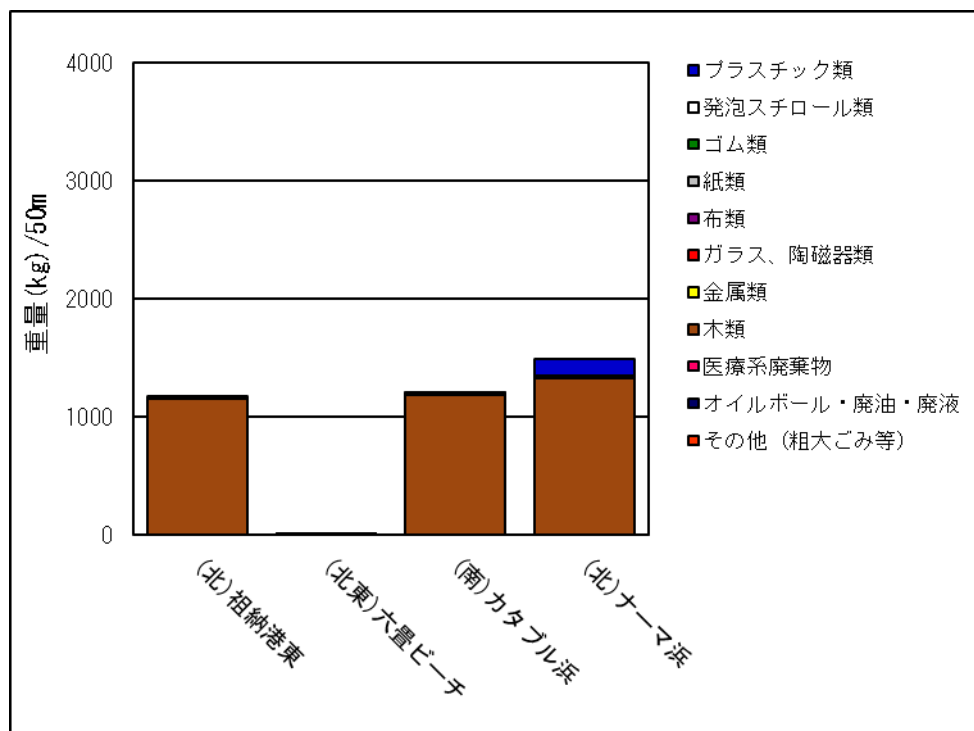


図 1. 2. 25 海岸漂着物の漂着重量調査結果（八重山諸島地域 与那国島）
（第 35 回調査 令和 4 年 11 月）【素材別】

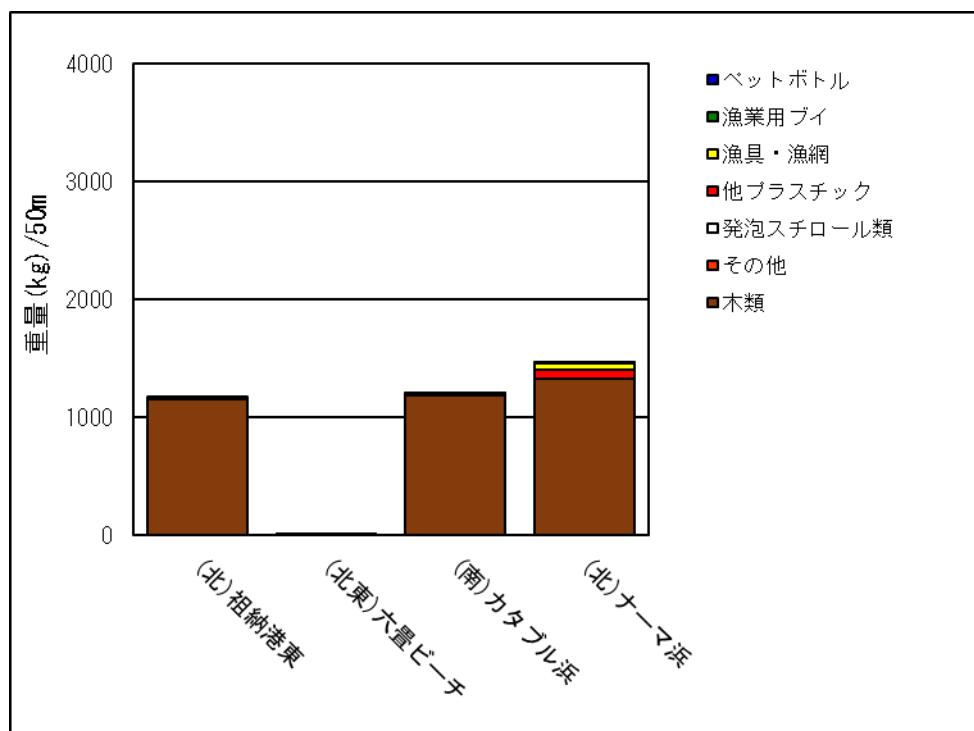


図 1. 2. 26 海岸漂着物の漂着重量調査結果（八重山諸島地域 与那国島）
（第 35 回調査 令和 4 年 11 月）【プラスチック類に注目した種類別】

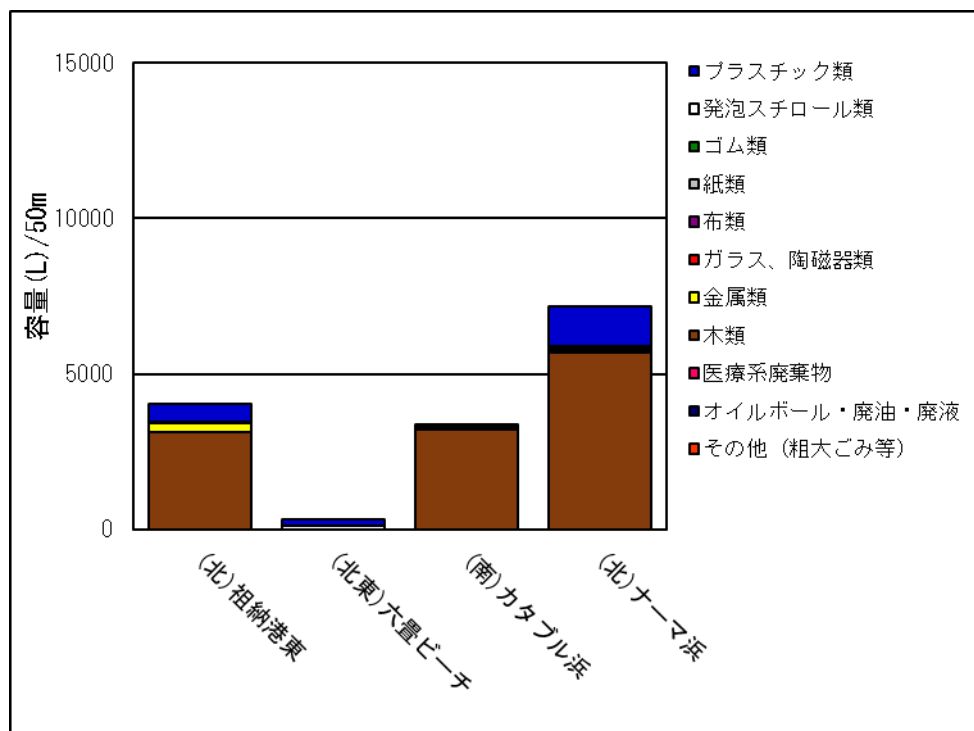


図 1.2.27 海岸漂着物の漂着容量調査結果（八重山諸島地域 与那国島）
（第 35 回調査 令和 4 年 11 月）【素材別】

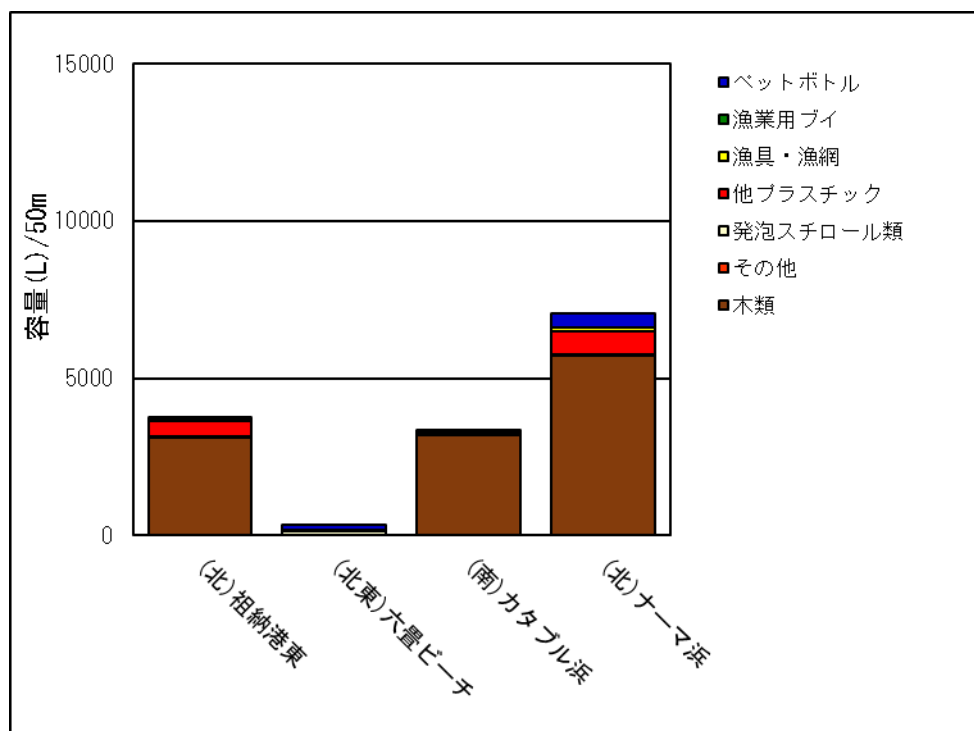


図 1.2.28 海岸漂着物の漂着容量調査結果（八重山諸島地域 与那国島）
（第 35 回調査 令和 4 年 11 月）【プラスチック類に注目した種類別】

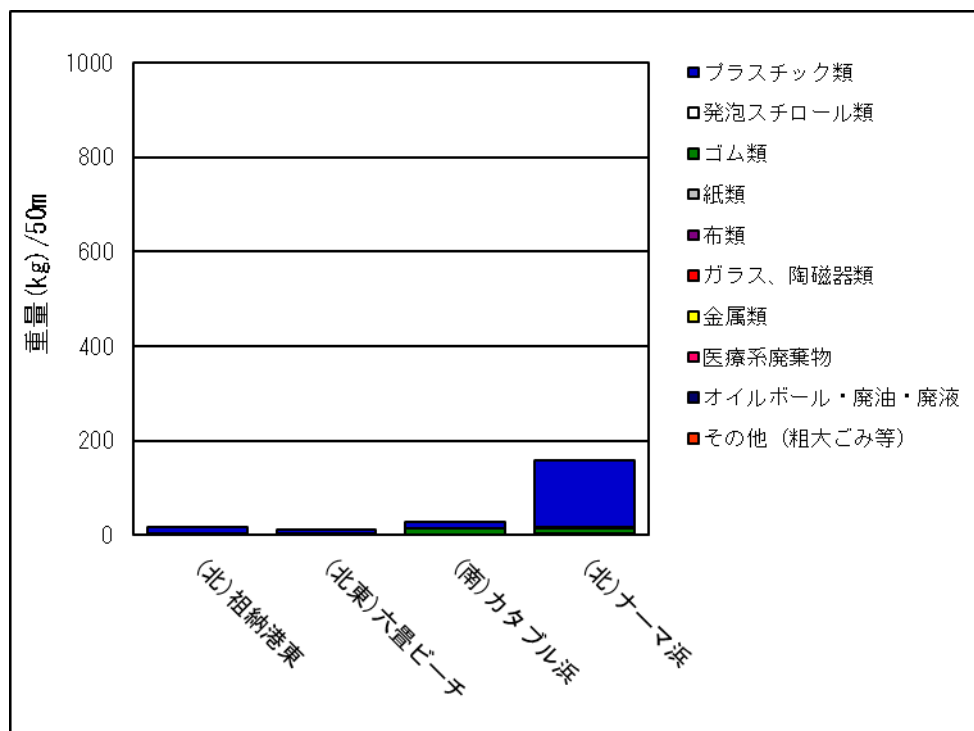


図 1.2.29 海岸漂着物の漂着重量調査結果（八重山諸島地域 与那国島）
（第 35 回調査 令和 4 年 11 月）【素材別・木類を除く】

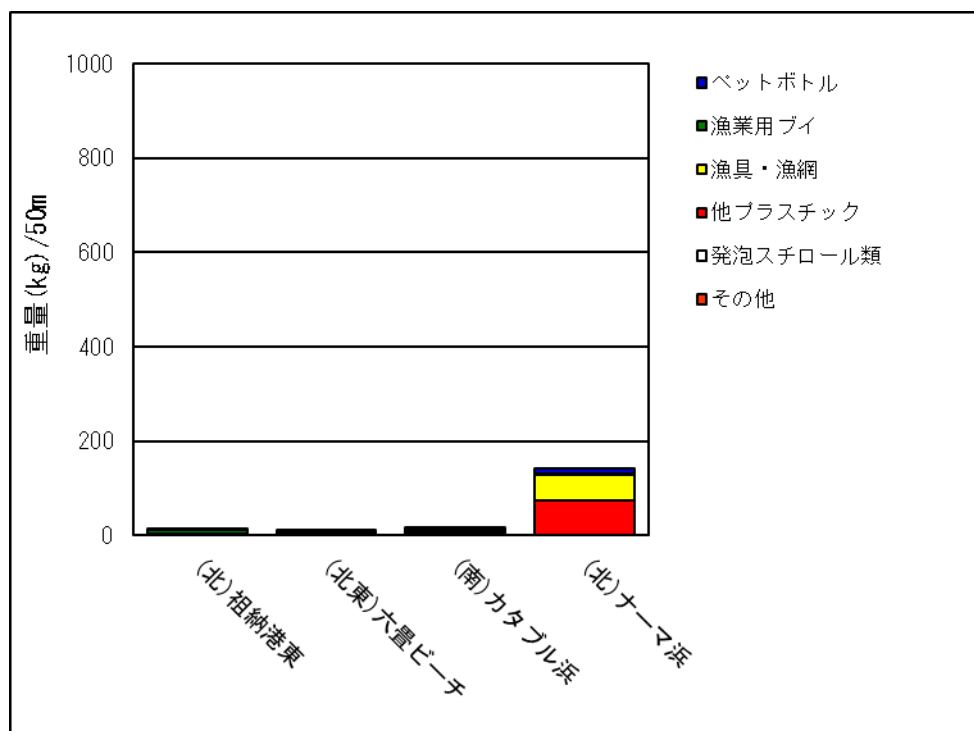


図 1.2.30 海岸漂着物の漂着重量調査結果（八重山諸島地域 与那国島）
（第 35 回調査 令和 4 年 11 月）【プラスチック類に注目した種類別・木類を除く】

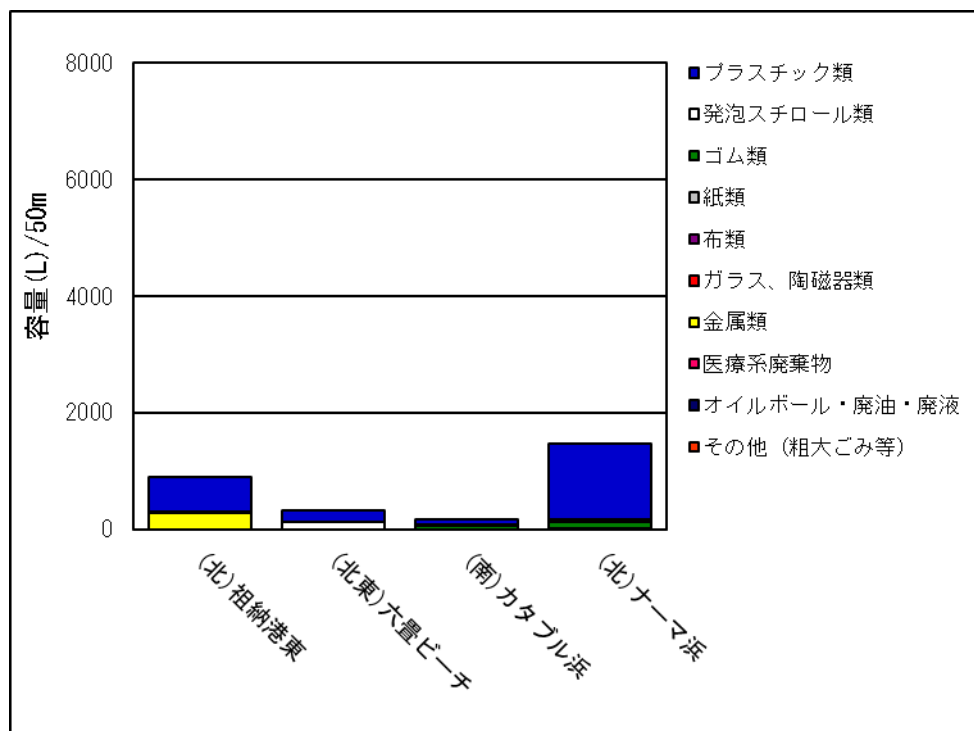


図 1. 2. 31 海岸漂着物の漂着容量調査結果（八重山諸島地域 与那国島）
（第 35 回調査 令和 4 年 11 月）【素材別・木類を除く】

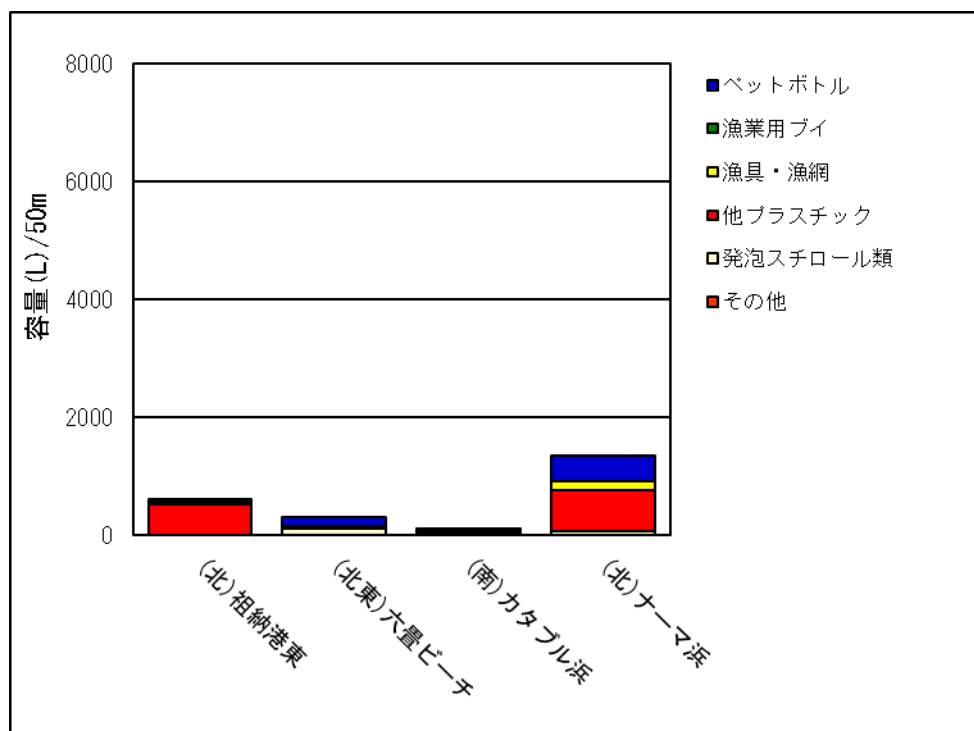


図 1. 2. 32 海岸漂着物の漂着容量調査結果（八重山諸島地域 与那国島）
（第 35 回調査 令和 4 年 11 月）【プラスチック類に注目した種類別・木類を除く】

1.2.4 第36回調査（令和5年2月）

第36回調査における海岸別の海岸漂着物の回収・分類・測定調査の結果を表1.2.9～10及び図1.2.33～40に示す。

表1.2.9 海岸漂着物の漂着重量調査結果（八重山諸島地域 与那国島）
（第36回調査 令和5年2月）

単位：kg/50m

素 材	種 類	与那国島			
		北	北東	南	北
		祖納港東	六畳 ビーチ	カタブル 浜	ナーマ浜
1. プラスチック類	ペットボトル	5.5	4.1	0.2	12.2
	漁業用ブイ	50.5	6.0	4.5	85.0
	漁具・漁網	851.0	1.0	2.8	468.6
	他プラスチック	4.1	1.2	2.6	96.3
	プラスチック類合計	911.1	12.3	10.1	662.1
2. 発泡スチロール類		15.0	1.0	0.3	18.4
3. ゴム類		3.0	1.0		17.6
4. 紙類		0.0			
5. 布類					
6. ガラス、陶磁器類		1.5		1.0	2.3
7. 金属類		10.5		0.0	0.3
8. 木類		2,980.7		10.0	2,435.5
9. 医療系廃棄物				0.0	0.3
10. オイルボール・廃油・廃液					
11. その他（粗大ごみ等）					
品目別その他（木材を除く3～11の合計）		15.0	1.0	1.0	20.5
木類を除く合計		941.1	14.3	11.4	701.0
合 計		3,921.9	14.3	21.4	3,136.4

注1) 数値は小数点第二位で四捨五入して表記した。

注2) 空欄は回収がないことを、「0.0」は0.05kg未満を示す。

表 1.2.10 海岸漂着物の漂着容量調査結果（八重山諸島地域 与那国島）
（第 36 回調査 令和 5 年 2 月）

単位：L/50m

素 材	種 類	与那国島			
		北	北東	南	北
		祖納港東	六畳 ビーチ	カタブル 浜	ナーマ浜
1. プラスチック類	ペットボトル	200.0	130.0	5.0	380.0
	漁業用ブイ	305.0	180.0	21.0	550.0
	漁具・漁網	5,376.0	15.0	30.0	3,026.6
	他プラスチック	55.0	30.0	25.2	871.3
プラスチック類合計		5,936.0	355.0	81.2	4,827.9
2. 発泡スチロール類		252.0	50.0	5.0	602.0
3. ゴム類		15.0	20.0		105.2
4. 紙類		0.3			
5. 布類					
6. ガラス、陶磁器類		3.0		2.1	6.0
7. 金属類		40.0		0.1	4.4
8. 木類		8,056.0		45.0	6,658.0
9. 医療系廃棄物				0.0	0.5
10. オイルボール・廃油・廃液					
11. その他（粗大ごみ等）					
品目別その他（木材を除く3～11の合計）		58.3	20.0	2.2	116.1
木類を除く合計		6,246.3	425.0	88.4	5,546.0
合計		14,302.3	425.0	133.4	12,204.0

注1) 数値は小数点第二位で四捨五入して表記した。

注2) 空欄は回収がないことを、「0.0」は0.05L未満を示す。

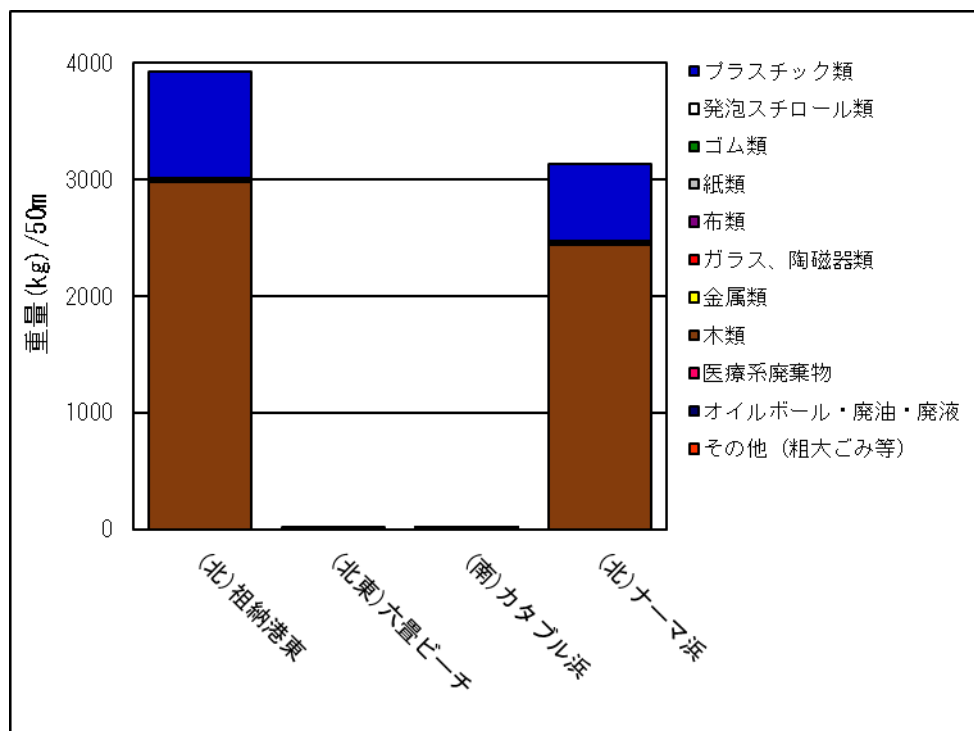


図 1.2.33 海岸漂着物の漂着重量調査結果（八重山諸島地域 与那国島）
（第 36 回調査 令和 5 年 2 月）【素材別】

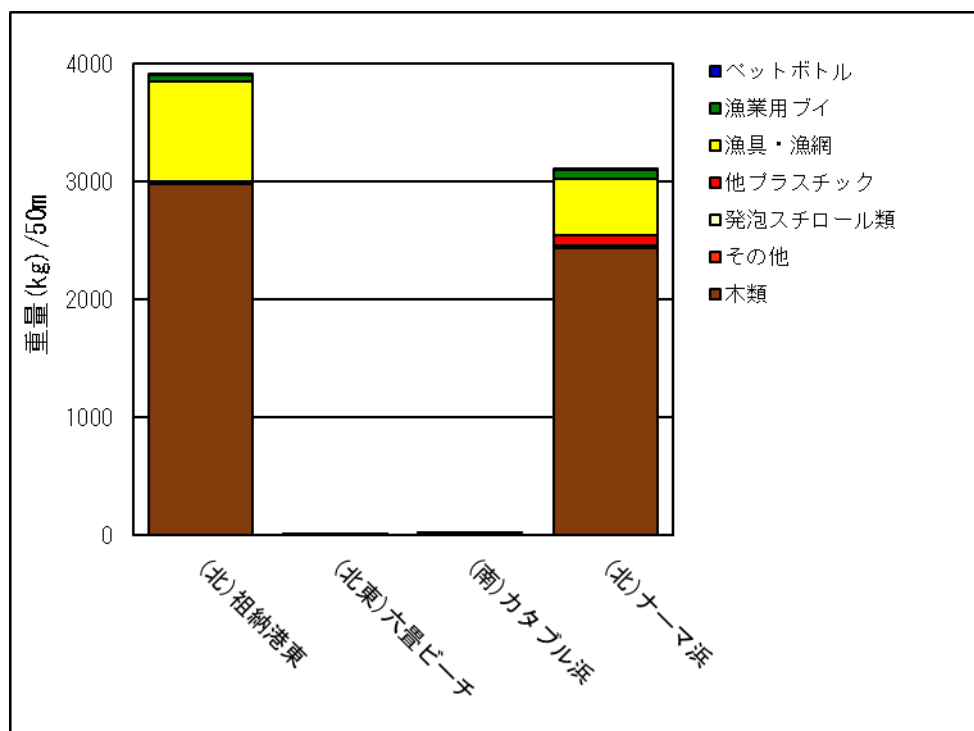


図 1.2.34 海岸漂着物の漂着重量調査結果（八重山諸島地域 与那国島）
（第 36 回調査 令和 5 年 2 月）【プラスチック類に注目した種類別】

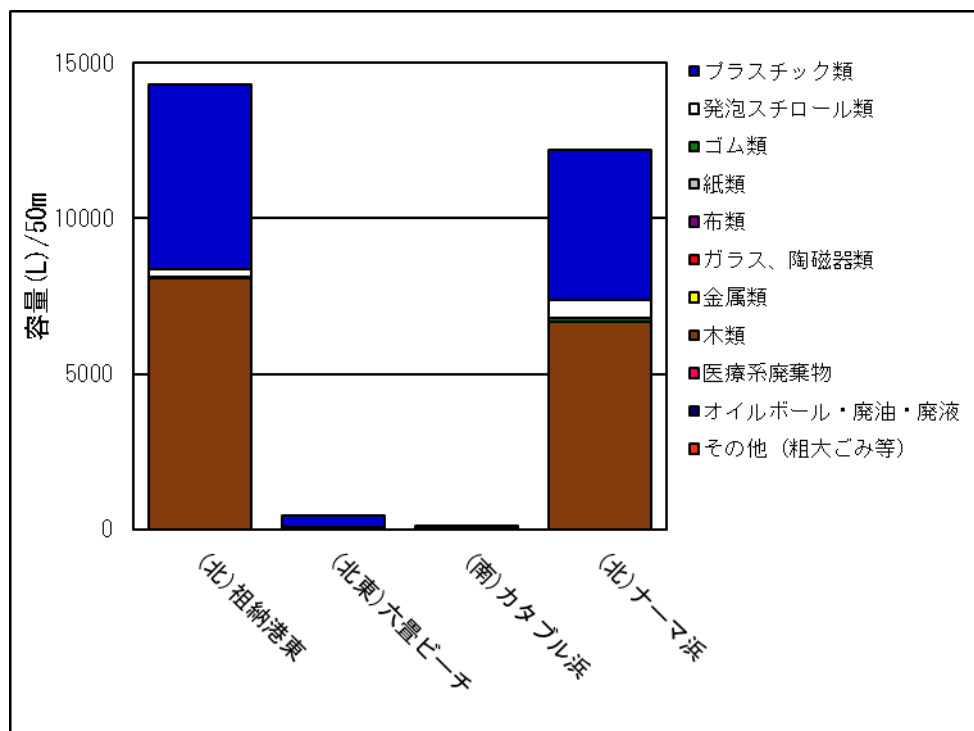


図 1. 2. 35 海岸漂着物の漂着容量調査結果（八重山諸島地域 与那国島）
（第 36 回調査 令和 5 年 2 月）【素材別】

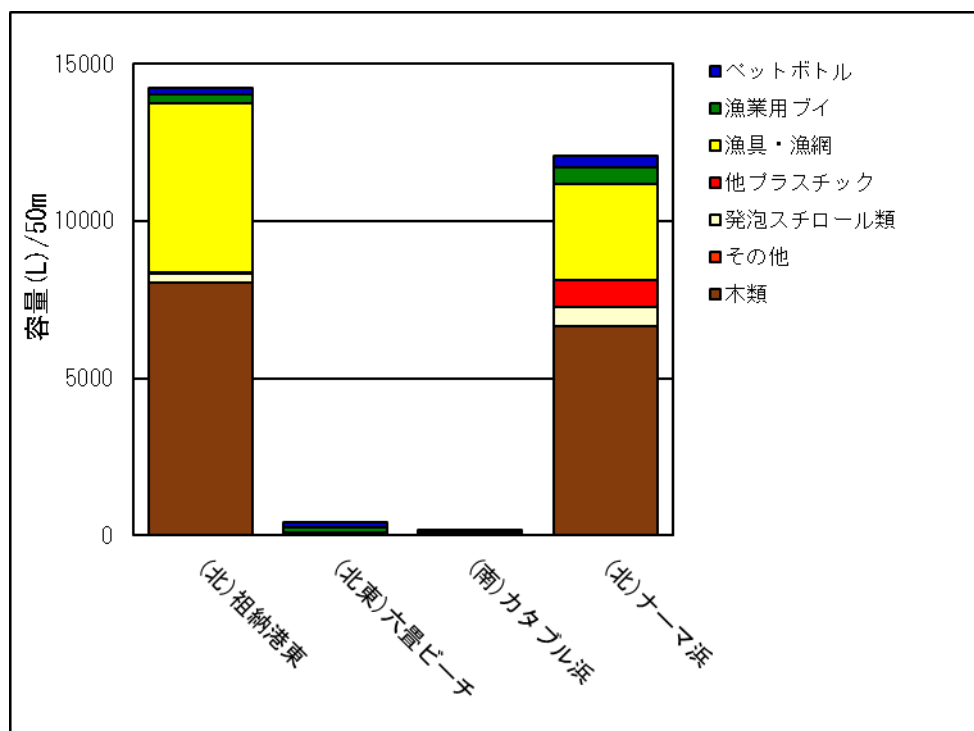


図 1. 2. 36 海岸漂着物の漂着容量調査結果（八重山諸島地域 与那国島）
（第 36 回調査 令和 5 年 2 月）【プラスチック類に注目した種類別】

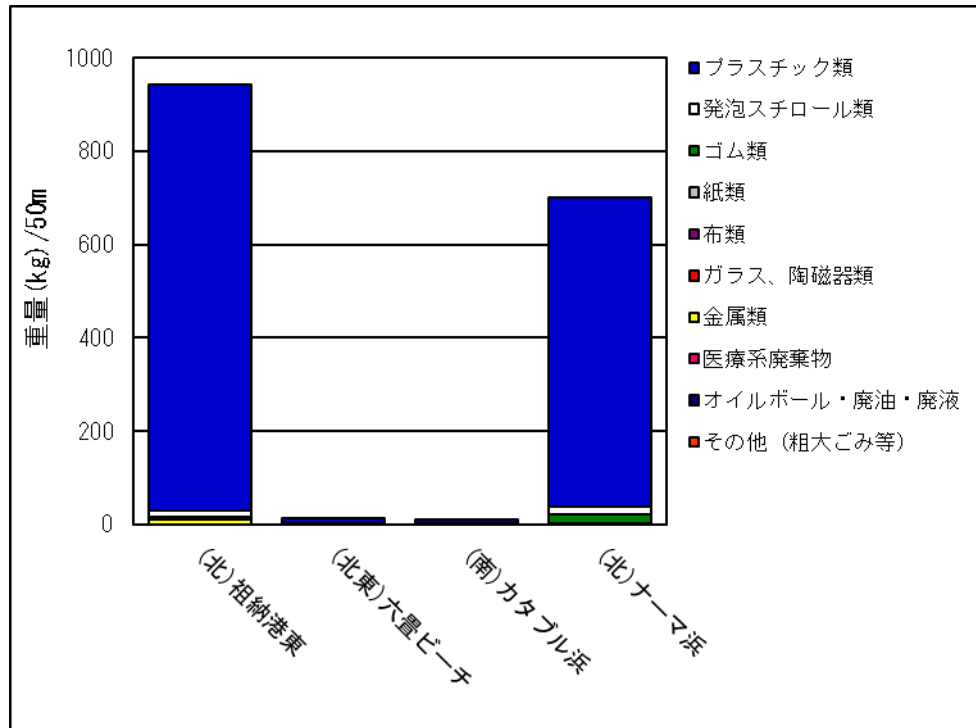


図 1.2.37 海岸漂着物の漂着重量調査結果（八重山諸島地域 与那国島）
（第 36 回調査 令和 5 年 2 月）【素材別・木類を除く】

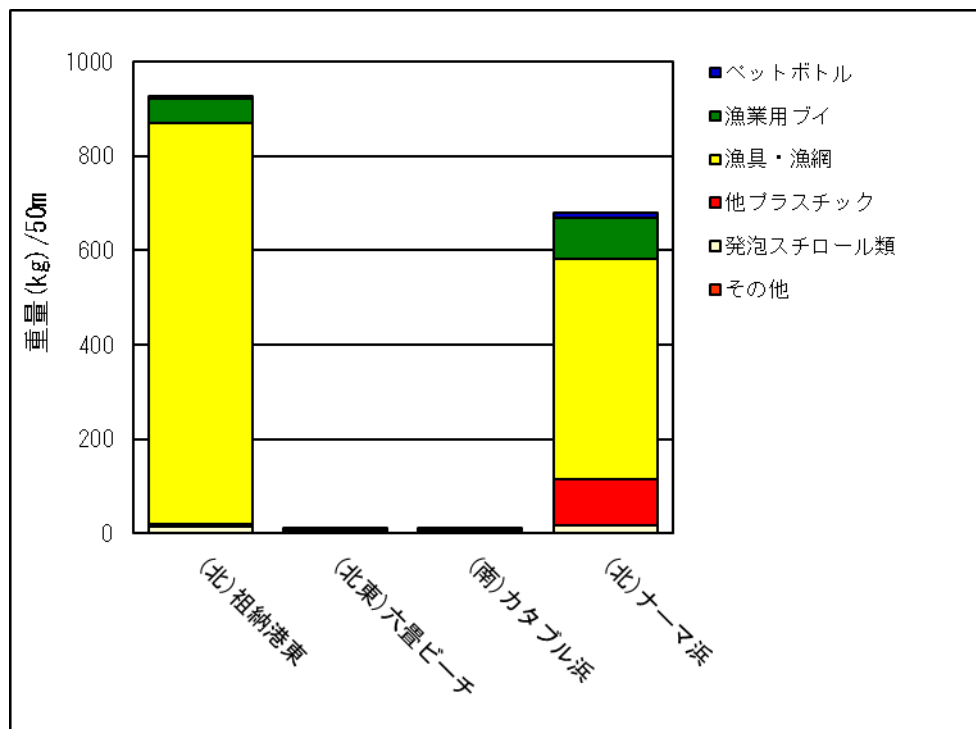


図 1.2.38 海岸漂着物の漂着重量調査結果（八重山諸島地域 与那国島）
（第 36 回調査 令和 5 年 2 月）【プラスチック類に注目した種類別・木類を除く】

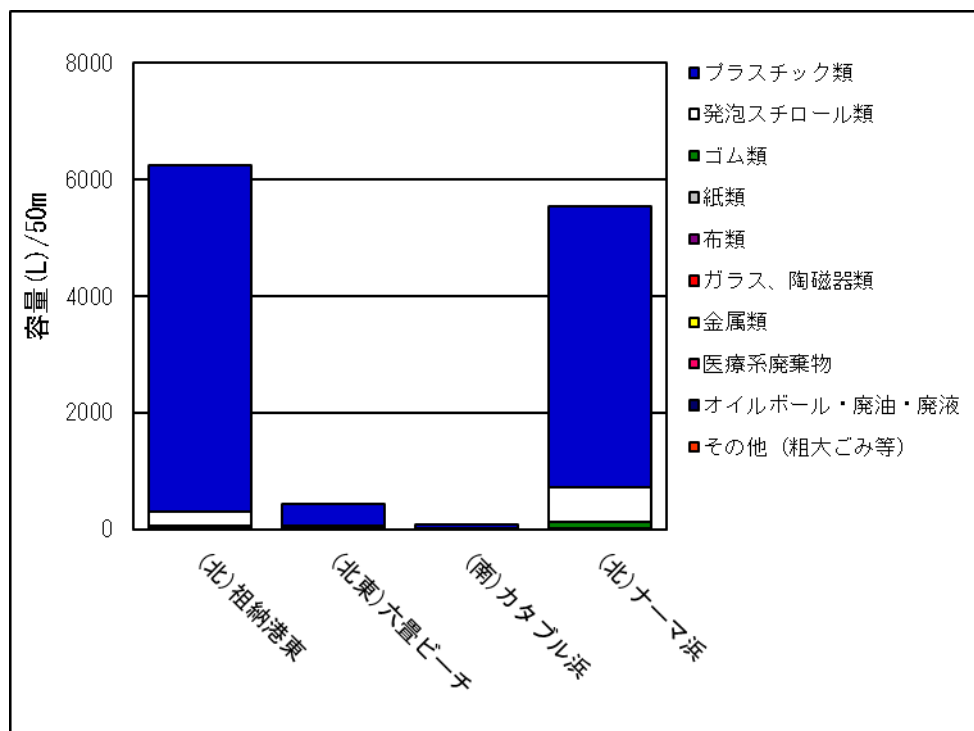


図 1.2.39 海岸漂着物の漂着容量調査結果（八重山諸島地域 与那国島）
（第 36 回調査 令和 5 年 2 月）【素材別・木類を除く】

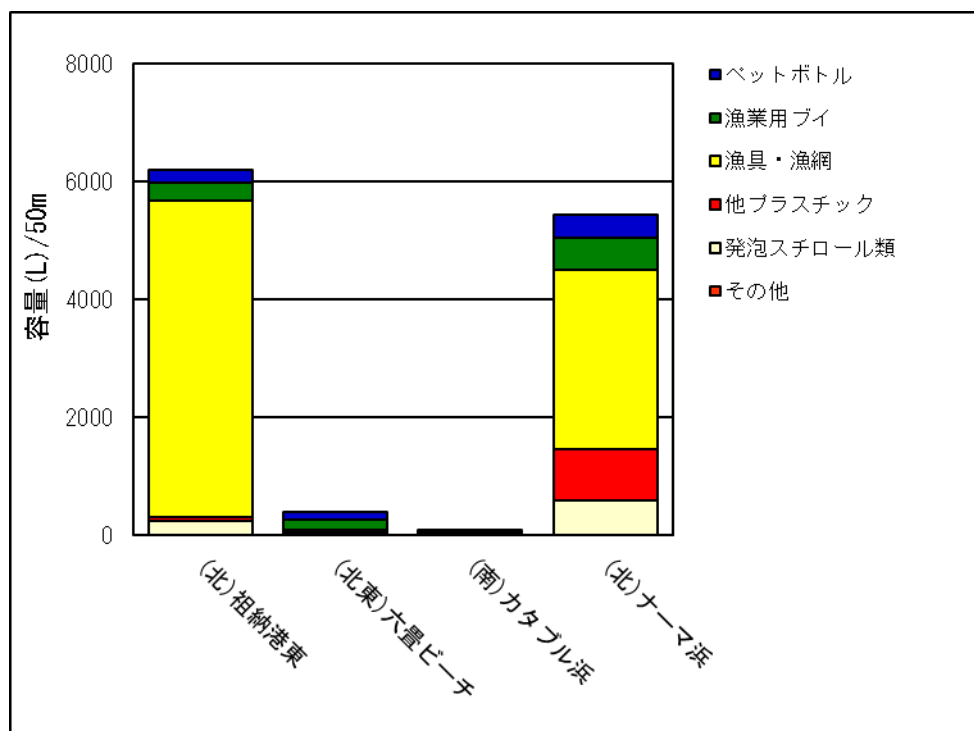


図 1.2.40 海岸漂着物の漂着容量調査結果（八重山諸島地域 与那国島）
（第 36 回調査 令和 5 年 2 月）【プラスチック類に注目した種類別・木類を除く】

1.3 発生国の推定可能な海岸漂着物の分類・計測

1.3.1 第33回調査（令和4年6月）

第33回調査における発生国の推定可能な海岸漂着物の分析・測定結果を表1.3.1に示す。

表 1.3.1 発生国の推定可能な海岸漂着物の漂着個数調査結果（宮古諸島地域）
（第33回調査 令和4年6月）

単位：個/50m

素 材	種 類			宮古島・池間島				合計
				北	北東	南	西	
				カギンミ西	西原海岸	入江海岸	前浜海岸	
プラスチック類	ペットボトル	1000cc未満	ラベル有	180	156	2		338
			ラベル無	273	184	3		460
		1000cc以上	ラベル有	26	8	1		35
			ラベル無	42	13	1		56
	漁業用ブイ	直径20cm未満	水色（大）	20	8			28
			水色（小）	405	198	11	1	615
			オレンジ	72	44	1		117
			その他	13	19			32
		直径20cm以上	黒色	9	1			10
			赤・黄・橙色系	2	2			4
			その他	2	1			3
		ライター			24	10	1	1
	日本製の農業用の容器・袋類							0
	日本製の飲食用の容器・袋類			1			1	2
	ポリタンク	韓国						0
		その他						0
		不明						0
	ビニール製バルーン	中国						0
		台湾						0
		その他・不明						0
発泡スチロール類	日本製の飲食用の容器・袋類							0
ガラス・陶磁器類	電球				1			1
	電球（ラベル有）			1				1
	蛍光灯				7			7
	蛍光灯（ラベル有）							0
金属類	飲料缶（日本製）			2				2
	飲料缶（海外製）			1	4			5
医療系廃棄物	バイアル							0
	注射器・針			1	4			5
	その他							0

注）空欄は回収がないことを示す。

1.3.2 第34回調査（令和4年9月）

第34回調査における海岸別の発生国の推定可能な海岸漂着物の分析・測定結果を表1.3.2に示す。

表 1.3.2 発生国の推定可能な海岸漂着物の漂着個数調査結果（宮古諸島地域）
（第34回調査 令和4年9月）

単位：個/50m

素 材	種 類			宮古島・池間島				合 計
				北	北東	南	西	
				カギンミ西	西原海岸	入江海岸	前浜海岸	
プラスチック類	ペットボトル	1000cc未満	ラベル有	78	30	2		110
			ラベル無	182	73	9		264
		1000cc以上	ラベル有	10	3			13
			ラベル無	30	5	1		36
	漁業用ブイ	直径20cm未満	水色（大）	10				10
			水色（小）	205	40	2		247
			オレンジ	66	8			74
			その他	29	4			33
		直径20cm以上	黒色	2	1	4		7
			赤・黄・橙色系	2	1			3
			その他	2		1		3
		ライター			21	11	3	
	日本製の農業用の容器・袋類				1			1
	日本製の飲食用の容器・袋類				2			2
	ポリタンク	韓国					0	
		その他					0	
		不明		1			1	
	ビニール製バルーン	中国					0	
		台湾					0	
		その他・不明		1			1	
発泡スチロール類	日本製の飲食用の容器・袋類							0
ガラス・陶磁器類	電球		2	1			3	
	電球（ラベル有）			1			1	
	蛍光灯			3			3	
	蛍光灯（ラベル有）						0	
金属類	飲料缶（日本製）				3	2	5	
	飲料缶（海外製）			2	7	1	10	
医療系廃棄物	バイアル						0	
	注射器・針		1				1	
	その他						0	

注）空欄は回収がないことを示す。

1.3.3 第35回調査（令和4年11月）

1) 宮古諸島地域における漂着量

第35回調査における海岸別の発生国の推定可能な海岸漂着物の分析・測定結果を表1.3.3に示す。

表 1.3.3 発生国の推定可能な海岸漂着物の漂着個数調査結果（宮古諸島地域）
（第35回調査 令和4年11月）

単位：個/50m

素 材	種 類			宮古島・池間島				合計
				北	北東	南	西	
				カギンミ西	西原海岸	入江海岸	前浜海岸	
プラスチック類	ペットボトル	1000cc未満	ラベル有	25	9	1		35
			ラベル無	43	22	2		67
		1000cc以上	ラベル有	6				6
			ラベル無	9	5			14
	漁業用ブイ	直径20cm未満	水色（大）	3	1			4
			水色（小）	109	6			115
			オレンジ	19	3	1		23
			その他	23	3	1		27
		直径20cm以上	黒色					
			赤・黄・橙色系					
			その他	1				1
		ライター			1	6	1	
	日本製の農業用の容器・袋類				2			2
	日本製の飲食用の容器・袋類				9			9
	ポリタンク	韓国						
		その他						
		不明						
	ビニール製バルーン	中国						
		台湾						
		その他・不明						
	発泡スチロール類	日本製の飲食用の容器・袋類						
ガラス・陶磁器類	電球			1			1	
	電球（ラベル有）							
	蛍光灯			2			2	
	蛍光灯（ラベル有）							
金属類	飲料缶（日本製）			1		1	2	
	飲料缶（海外製）			1			1	
医療系廃棄物	バイアル							
	注射器・針							
	その他							

注）空欄は回収がないことを示す。

2) 八重山諸島地域（与那国島）における漂着量

第35回調査における海岸別の発生国の推定可能な海岸漂着物の分析・測定結果を表1.3.4に示す。

表 1.3.4 発生国の推定可能な海岸漂着物の漂着個数調査結果（八重山諸島地域 与那国島）
（第35回調査 令和4年11月）

単位：個/50m

素 材	種 類			与那国島				合計
				北	北東	南	北	
				祖納港東	六畳ビーチ	カタブル浜	ナーマ浜	
プラスチック類	ペットボトル	1000cc未満	ラベル有	20	24		115	159
			ラベル無	40	77	5	344	466
		1000cc以上	ラベル有	1	19		7	27
			ラベル無	3		2	21	26
	漁業用ブイ	直径20cm未満	水色（大）	1				1
			水色（小）	12	1	5	6	24
			オレンジ	5		3	7	15
			その他	5	1	6	21	33
		直径20cm以上	黒色	3		1		4
			赤・黄・橙色系		1			1
			その他	3				3
	ライター			3		14	28	45
	日本製の農業用の容器・袋類							0
	日本製の飲食用の容器・袋類							0
	ポリタンク	韓国					0	
		その他					0	
		不明					0	
	ビニール製バルーン	中国					0	
		台湾					0	
		その他・不明					0	
発泡スチロール類	日本製の飲食用の容器・袋類							0
ガラス・陶磁器類	電球			3			2	5
	電球（ラベル有）			1			2	3
	蛍光灯							0
	蛍光灯（ラベル有）							0
金属類	飲料缶（日本製）				1	1		2
	飲料缶（海外製）							0
医療系廃棄物	バイアル							0
	注射器・針						14	14
	その他							0

注）空欄は回収がないことを示す。

1.3.4 第35回調査（令和5年2月）

第35回調査における海岸別の発生国の推定可能な海岸漂着物の分析・測定結果を表1.3.5に示す。

表 1.3.5 発生国の推定可能な海岸漂着物の漂着個数調査結果（八重山諸島地域 与那国島）
（第35回調査 令和5年2月）

単位：個/50m

素 材	種 類			与那国島				合計
				北	北東	南	北	
				祖納港東	六畳ビーチ	カタブル浜	ナーマ浜	
プラスチック類	ペットボトル	1000cc未満	ラベル有	54	27	3	152	236
			ラベル無	80	87	4	260	431
		1000cc以上	ラベル有	6	5		14	25
			ラベル無	10	16	1	28	55
	漁業用ブイ	直径20cm未満	水色（大）				6	6
			水色（小）	12		7	79	98
			オレンジ	10			49	59
			その他	6			64	70
		直径20cm以上	黒色	15	1	2	20	38
			赤・黄・橙色系	3	3		10	16
			その他	10	4		8	22
	ライター			8		6	51	65
	日本製の農業用の容器・袋類							
	日本製の飲食用の容器・袋類							
	ポリタンク	韓国		1			1	
		その他						
		不明				5	5	
	ビニール製バルーン	中国						
		台湾						
		その他・不明						
発泡スチロール類	日本製の飲食用の容器・袋類							
ガラス・陶磁器類	電球						7	7
	電球（ラベル有）							
	蛍光灯							
	蛍光灯（ラベル有）							
金属類	飲料缶（日本製）			3			8	11
	飲料缶（海外製）						1	1
医療系廃棄物	バイアル							
	注射器・針					1	16	17
	その他							

注）空欄は回収がないことを示す。

1.4 調査の状況写真

1.4.1 第33回調査（令和4年6月）

第33回調査時の海岸の状況、作業状況、主な海岸漂着物等を地点別に図1.4.1～4に、特徴的な海岸漂着物を、図1.4.5に示す。

	
回収前（左）	回収前（右）
	
回収後（左）	回収後（右）
	
対照枠	主要な海岸漂着物：ペットボトル
	
回収作業状況	回収した海岸漂着物

図1.4.1 カギンミ西（宮古諸島地域 池間島北側）
（第33回 令和4年6月28日）

	
回収前（左）	回収前（右）
	
回収後（左）	回収後（右）
	
対照枠	主な海岸漂着物：ペットボトル
	
回収作業状況	回収した海岸漂着物

図 1.4.2 西原海岸（宮古諸島地域 宮古島北東側）
（第 33 回 令和 4 年 6 月 29 日）

	
回収前（左）	回収前（右）
	
回収後（左）	回収後（右）
	
対照枠	主な海岸漂着物：漁具・漁網
	
回収作業状況	回収した海岸漂着物

図 1.4.3 入江海岸（宮古諸島地域 宮古島南側）
（第 33 回 令和 4 年 6 月 30 日）

	
回収前（左）	回収前（右）
	
回収後（左）	回収後（右）
	
対照枠	主な海岸漂着物：流木
	
回収作業状況	回収した海岸漂着物

図 1.4.4 前浜海岸（宮古諸島地域 宮古島西側）
（第 33 回 令和 4 年 6 月 30 日）

	
池間島 カギンミ西（中国）	宮古島 西原海岸（不明）

注）（ ）は生産国を示す。

図 1. 4. 5 特徴的な海岸漂着物（電球・蛍光灯）（第 33 回）

1.4.2 第34回調査（令和4年9月）

第34回調査時の海岸の状況、作業状況、主な海岸漂着物等を地点別に図1.4.6～9に、特徴的な海岸漂着物を、図1.4.10～11に示す。

	
回収前（左）	回収前（右）
	
回収後（左）	回収後（右）
	
対照枠	主な海岸漂着物：ペットボトル
	
回収作業状況	回収した海岸漂着物

図1.4.6 カギンミ西（宮古諸島地域 池間島北側）
（第34回 令和4年9月26日）

	
回収前（左）	回収前（右）
	
回収後（左）	回収後（右）
	
対照枠	主な海岸漂着物：ペットボトル
	
回収作業状況	回収した海岸漂着物

図 1.4.7 西原海岸（宮古諸島地域 宮古島北東側）
（第 34 回 令和 4 年 9 月 27 日）

	
回収前（左）	回収前（右）
	
回収後（左）	回収後（右）
	
対照枠	主な海岸漂着物：漁具・漁網
	
回収作業状況	回収した海岸漂着物

図 1.4.8 入江海岸（宮古諸島地域 宮古島南側）
（第 34 回 令和 4 年 9 月 28 日）

	
回収前（左）	回収前（右）
	
回収後（左）	回収後（右）
	
対照枠	主な海岸漂着物：漁具・漁網
	
主な海岸漂着物：飲料缶	回収した海岸漂着物

図 1.4.9 前浜海岸（宮古諸島地域 宮古島西側）
（第 34 回 令和 4 年 9 月 28 日）



注）（ ）は生産国を示す。

図 1. 4. 10 特徴的な海岸漂着物（ビニール製バルーン）（第 34 回）



注）（ ）は生産国を示す。

図 1. 4. 11 特徴的な海岸漂着物（電球・蛍光灯）（第 34 回）